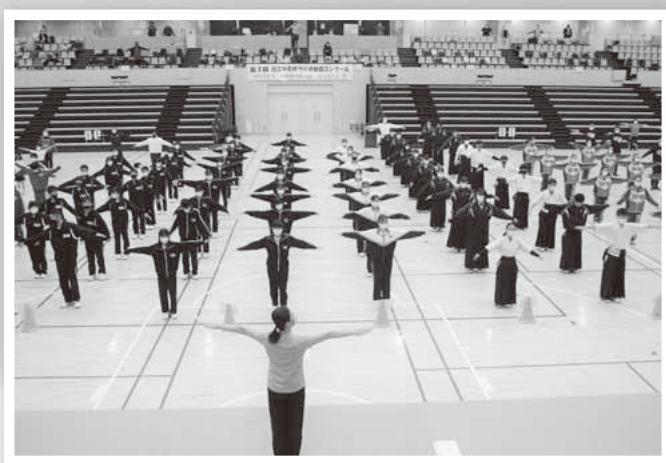


2022

日立の教育



日立市教育委員会

教育の基本理念

未来を拓く人づくり

基本理念を実現するための推進テーマ

- いいとこ発見 夢づくり【学校教育】
- ゆたかな学び 未来につなぐ 人づくり【生涯学習】
- 楽しくスポーツ 活力づくり【スポーツ】

目 標

学ぶ 夢みる そして輝く

～ ひたちらしさを活かした教育で、未来を拓く～

<社会状況の変化>

- ・人口減少・少子高齢化の加速化
- ・急激な技術革新（Society5.0）
- ・人生100年時代の到来

<教育環境の変化>

- ・新学習指導要領の全面实施
- ・配慮が必要な児童生徒の増加
- ・教職員の働き方改革



【目指す姿】

- 主体的に判断し、多様な人々と協働しながら、未来を拓く人材の育成（学校教育）
- 一人一人が活躍し、健康で豊かに暮らすことのできる生活の実現（生涯学習・スポーツ）

※「ひたちらしさ」を活かした取組による教育の振興 ⇒ 未来を拓く人づくり

【表紙写真】

- ・上段左：電子黒板の活用（ICT教育の推進）
（会瀬小学校）
- ・上段右：日立市長杯ラジオ体操コンクール（ラジオ体操の普及）
- ・下 段：県北ブロックスポーツ少年団駅伝交流大会（スポーツ少年団の活動支援）

2022 日立の教育

(総目次)

I 日立市の概況

II 教育委員会

III 学校教育

IV 生涯学習

V スポーツ

VI 資料編

目 次

I	日立市の概況		(4) 令和3年度各種事業の実施状況 ……	22
1	概況 ……	1	6 特別支援教育	
2	面積、人口及び世帯 ……	1	(1) 特別支援学級設置状況及び児童生徒数 (種別、学校別、学年別) ……	26
3	日立市の財政 ……	3	(2) 日立特別支援学校児童生徒数 (学年別、症状別) ……	27
II	教育委員会		(3) 日立市教育支援委員会 ……	27
1	教育委員会 ……	4	7 幼稚園	
2	教育委員会の機構 ……	5	(1) 園児数及び就園率 ……	29
3	事務局分掌事務 ……	6	(2) 預かり保育 ……	29
4	教育委員会職員数 ……	8	8 保護者負担軽減対策	
5	令和4年度教育予算(歳出) ……	9	(1) ランドセル及びスクールカバン 予算措置 ……	30
III	学校教育		(2) 学校給食費助成予算措置 ……	30
1	児童生徒数の推移		(3) 氏名ゴム印予算措置 ……	30
(1)	人口の推移 ……	10	(4) 部活動関係予算措置 ……	30
(2)	児童生徒数の推移と推計 ……	10	(5) 自転車通学生徒用ヘルメット購入費 予算措置 ……	31
(3)	今後4か年就学児推計 ……	10	9 学校施設整備状況 ……	32
2	学校等設置状況		10 教材教具整備状況	
(1)	幼稚園、認定こども園、小・中・義務 教育・特別支援学校 ……	11	(1) 教材整備及び図書整備 ……	33
(2)	私立幼稚園及び認定こども園 ……	13	(2) 教育用コンピュータ等の整備 ……	33
(3)	私立小学校、中学校、高等学校 及び大学 ……	14	11 保健と安全	
3	学校再編の推進		(1) 学校保健 ……	34
(1)	学校再編推進事業 ……	15	(2) 学校安全 ……	35
(2)	事業内容 ……	15	12 学校給食	
4	教育指導		(1) 学校給食共同調理場の概要 ……	37
(1)	日立市の学校教育目標 ……	16	(2) 運営管理 ……	38
(2)	目指す子どもの姿「ひたちっ子」…	16	13 通学用スクールバス	
(3)	学校教育施策の柱及び方向性 ……	17	(1) 中里小中学校スクールバス ……	39
(4)	令和4年度研究指定園・校 ……	18	(2) 日立特別支援学校スクールバス ……	39
(5)	中卒者の進路状況 ……	18	14 放課後児童対策	
(6)	長欠児童生徒の推移(30日以上)…	19	(1) 放課後児童健全育成事業 ……	40
(7)	令和3年度体力・運動能力調査平均値 の比較 ……	20	(2) 放課後子ども教室事業 ……	41
5	教育研究所事業		15 スクールロイヤー ……	42
(1)	基本方針 ……	21	16 奨学金制度	
(2)	重点事項 ……	21	(1) 奨学金貸付事業 ……	43
(3)	事業内容 ……	21	(2) 奨学金返還支援事業 ……	44

IV 生涯学習

1 生涯学習の推進

- (1) 基本方針 45
- (2) 生涯学習の重点施策 45

2 図書館

- (1) 施設概要 48
- (2) 基本方針 48
- (3) 令和4年度図書等購入計画 49
- (4) 蔵書冊数 49
- (5) 利用状況 49
- (6) 活動のあらまし 50

3 郷土博物館

- (1) 施設概要 51
- (2) 基本方針 51
- (3) 利用状況 51
- (4) 特別展示等開催状況 51
- (5) ギャラリー展 51
- (6) 各種行事開催状況 51
- (7) 資料貸出し等状況 52
- (8) 日立の文化財一覧 53

4 視聴覚センター

- (1) 施設概要 55
- (2) 基本方針 55
- (3) 主な事業 55
- (4) 利用状況 55
- (5) 各種事業の実施状況 56

5 その他の施設 57

V スポーツ

1 スポーツの推進

- (1) 基本方針 58
- (2) スポーツの重点施策 58

2 スポーツ施設

- (1) 市民運動公園 59
- (2) スポーツ広場 59
- (3) 武道館 59
- (4) 市民プール 59
- (5) 市民広場等 59
- (6) 利用状況 60

3 学校施設開放

- (1) 開放施設一覧 61
- (2) 令和3年度学校体育施設開放利用
状況 62

VI 資料編

1 日立市教育委員会及び日立市の沿革 ... 63

2 協議会・審議会・委員会委員名簿等 ... 72

3 令和4年度(公財)日立市スポーツ協会の 組織図 78

4 市立幼稚園、認定こども園、小・中・義務 教育学校及び特別支援学校配置図 79

5 幼稚園、認定こども園、小・中学校、 高等学校及び大学配置図(市立を除く) ... 80

6 生涯学習関係施設配置図 81

7 公共スポーツ施設配置図 82

I 日立市の概況

1 概況

日立市は、関東平野の北端、茨城県の北東部に位置しており、東京から約150kmの距離にある。JR常磐線や国道6号が市内を縦断しており、常磐線特急電車で約100分、常磐自動車道では約1時間強で首都東京まで移動できるなど、交通条件に恵まれている。東は太平洋に面し、西は阿武隈山地の支脈である多賀山地が連なっており、海と山の豊かな自然環境に恵まれるとともに、年間を通して比較的温暖な気候にある。

本市は、明治以来日立鉱山及び日立製作所の飛躍とともに発展し、現在においても日立製作所をはじめとする多くの工場があり、重要港湾である茨城港日立港区とあいまって、県内有数の工業拠点を形成している。

また、市内には、吉田正音楽記念館、かみね公園・動物園、鶴来湯十王、奥日立きららの里、道の駅日立おさかなセンターなどの豊富な観光資源や、日立風流物やいぶき山イブキ樹叢といった貴重な文化財も多い。さらにコミュニティ活動、生涯学習活動の推進においては独自の施策を展開しており、「生活未来都市・ひたち ～知恵と自然が響き合い、暮らしを明日につなぐまち～」を掲げ、産業と市民生活との調和のとれたまちづくりを進めている。

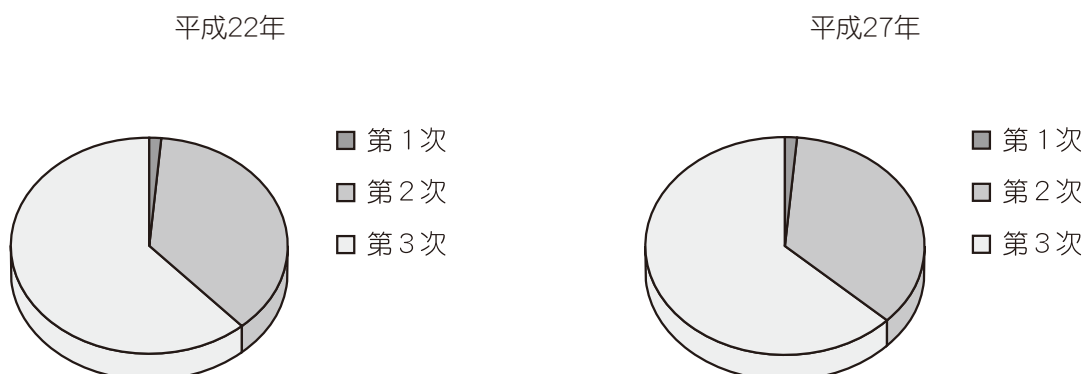
2 面積、人口及び世帯

世帯数 (戸)	人口(人)		一世帯平均 人口(人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
	男	女			
82,333	171,450	85,817	2.1	225.71	771.4

令和4年5月1日現在

産業別人口構成（国勢調査による）

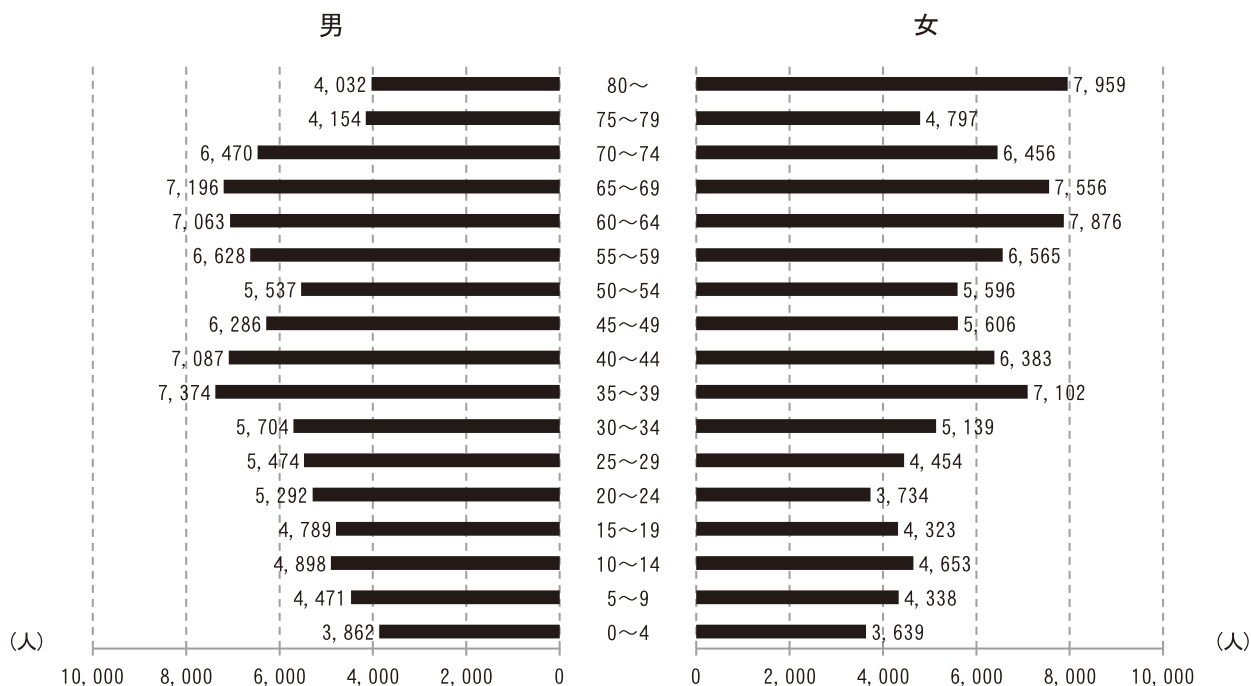
	平成22年		平成27年	
第1次産業	1,262人	1.5%	1,099人	1.3%
第2次産業	30,882人	37.9%	34,276人	40.1%
第3次産業	49,439人	60.6%	50,155人	58.6%
合計	81,583人		85,530人	



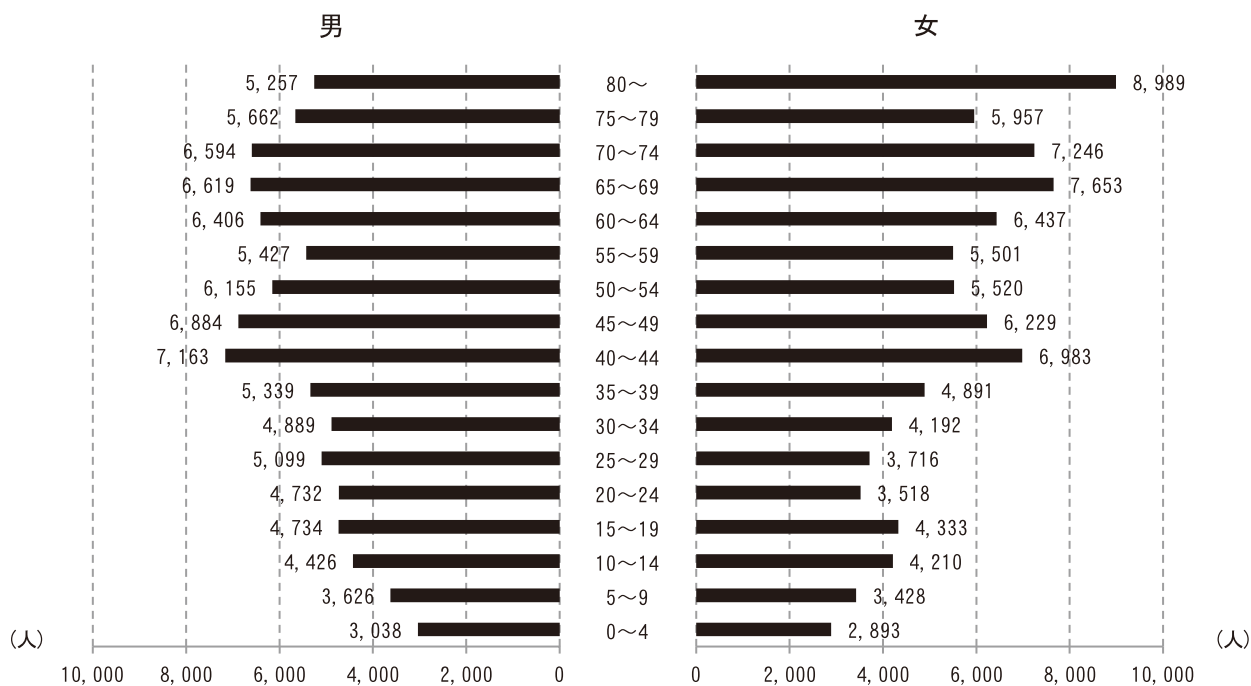
年齢別人口構成（国勢調査による）

I
日立市の概況

平成22年
年齢



平成27年
年齢



3 日立市の財政

令和4年度日立市一般会計歳出予算科目別構成比

(単位：千円)

科 目	予 算 額	構成比 (%)		
		人 件 費	そ の 他	
議 会 費	432,930	381,758	51,172	0.6
総 務 費	8,204,462	3,633,603	4,570,859	11.3
民 生 費	27,335,326	2,419,439	24,915,887	37.5
衛 生 費	7,432,320	728,995	6,613,325	10.1
労 働 費	69,484	37,511	31,973	0.1
農林水産業費	380,180	169,462	210,718	0.5
商 工 費	3,076,905	602,519	2,474,386	4.2
土 木 費	7,530,328	1,387,508	6,142,820	10.3
消 防 費	3,325,473	2,775,726	549,747	4.6
教 育 費	7,877,447	1,985,152	5,892,295	10.8
災 害 復 旧 費	0	0	0	0.0
公 債 費	7,015,145	0	7,015,145	9.6
予 備 費	300,000	0	300,000	0.4
合 計	72,890,000	14,121,673	58,768,327	100.0
構 成 比 (%)	100.0	19.4	80.6	—

教育費予算額過去5年間の推移（平成30年度～令和4年度）

(単位：千円)

年 度	教育費予算 (A)	一般会計予算 (B)	A/B × 100 (%)
平成 30	10,171,691	75,670,000	13.4
令 和 元	9,262,946	71,738,000	12.9
2	8,576,218	73,147,000	11.7
3	7,897,853	72,705,000	10.9
4	7,877,447	72,890,000	10.8

II 教育委員会

1 教育委員会

職 名	氏 名	現 任 期
教 育 長	おり かし しょう へい 折 笠 修 平	令元.12.25 ~ 令 4.12.24
教育長職務代理者	なか おら まさ とし 中 村 雅 利	平 2.12.25 ~ 令 6.12.24
委 員	かみ おら ゆ み 上 村 由 美	令元.10.1 ~ 令 5.9.30
委 員	あさ ひ はな こ 朝 日 華 子	令元.7.1 ~ 令 5.6.30
委 員	お の とち ひさ 小 野 智 久	令 3.10.2 ~ 令 7.10.1

令和 4 年 5 月 1 日現在

折笠教育長



中村教育長職務代理者



上村委員



朝日委員



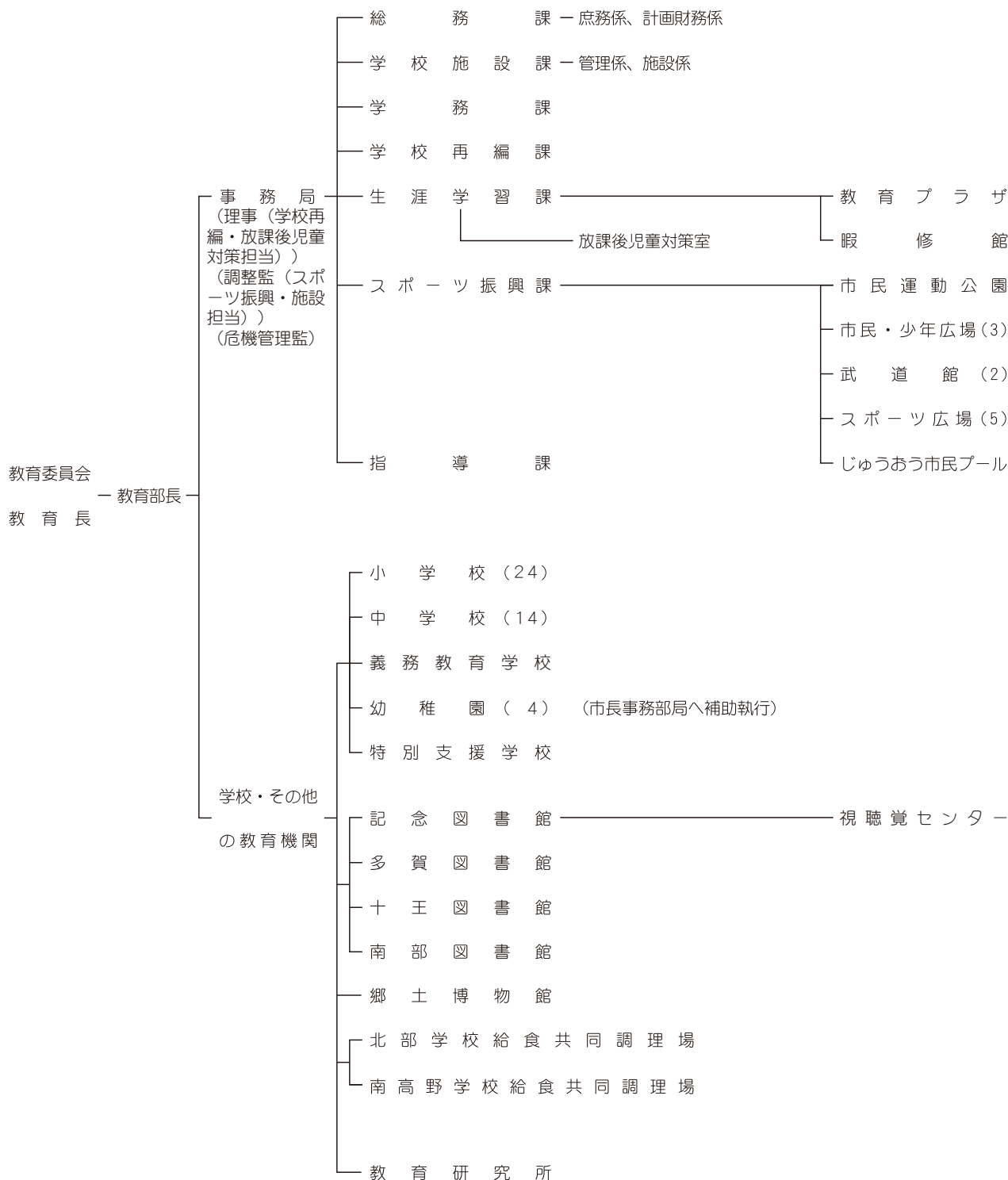
小野委員



会議の開催状況（令和 3 年度）

種別	月													計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臨時会	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
協議会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

2 教育委員会の機構



3 事務局分掌事務

総務課

（庶務係）

教育委員／教育委員会会議／例規案の審査、制定改廃の手續／職員（県費教職員を除く。以下同じ。）の任命、配置、分限、懲戒／職員の服務、研修、福利厚生／職員の昇格、昇給、給与／組織、事務分掌／衛生委員会／公印管守／文書收受、発送／公文書公開／個人情報保護／公告式／渉外、秘書／各課との連絡調整／総合教育会議／その他各課に属さないこと

（計画財務係）

重要施策企画／事務事業進行管理／教育行政相談／要望、請願、陳情等の処理／教育長特命の重要事項調査研究、総合調整／教育委員会予算、決算の総括／私立学校／日立市奨学金／教育に関する施策の大綱

学校施設課

（管理係）

小・中・義務教育・特別支援学校の予算経理／小・中・義務教育・特別支援学校の教材、教具整備管理

（施設係）

学校施設の計画（土地を含む）、建設／学校施設の大規模改修／学校施設の維持管理、環境整備／学校施設に係る国庫補助申請等／学校施設台帳の整備、実態調査

学務課

県費教職員の任命、分限、懲戒内申／県費教職員の服務、免許、給与、福利厚生／学校の設置、廃止／通学区設定、改廃／学級編制、教職員定数／就学、入学、転学／教科書無償給与／児童生徒に係る諸補助／就学奨励費／学校に係る調査統計／就学相談／学校給食／学校医・学校歯科医・学校薬剤師の任免、服務、研修／児童生徒の保健、安全、福利厚生／新入学児童生徒のランドセル・スクールカバンの支給／スクールバス運行

学校再編課

学校再編計画及びその推進／学校再編に係る広報及び連絡調整／その他学校再編に関すること

生涯学習課

生涯学習推進の総合計画、連絡調整／ひたち生き生き百年塾推進本部／生涯学習情報の提供／社会教育委員会議／教育プラザ・暇修館の設置、運営／社会教育活動に対する指導助言／ラジオ体操の普及／子どもの体験活動支援／新成人記念事業／市が運営する放課後児童健全育成事業（障害児児童クラブを除く。）／市以外の者が行う放課後児童健全育成事業等の補助、届出、立入検査等／放課後子ども教室／その他生涯学習及び放課後児童対策に関すること

スポーツ振興課

体育（スポーツを含む）振興企画／レクリエーション活動／各種体育大会、競技会／体育関係諸団体／スポーツ推進委員／体育施設の設置、運営（じゅうおう市民プールの管理を含む）／対外競技、選手派遣／学校施設開放／市民運動公園、市民広場及び少年広場の管理

指導課

学校・幼稚園の教育の計画、経営／児童生徒の生活指導／学校教育内容の助言、指導／教育課程／教職員の研修／教職員の教育研究／教育に関する各種検査、調査、評価／教材等の届出、承認／教材、教育資料の収集、研究／教科用図書採択／視聴覚教育／その他学校教育に関する専門事項の指導に関すること

※ 次の事務については、保健福祉部子ども施設課が分掌する。

幼稚園施設の計画（土地を含む。）、建設／幼稚園施設の大規模改修／幼稚園施設の維持管理、環境整備／幼稚園施設に係る国庫補助申請等／幼稚園施設台帳の整備、実態調査／幼児教育振興／幼稚園に係る予算経理／幼稚園の教材教具整備管理／幼稚園の学校医・学校歯科医・学校薬剤師の任免、服務、研修／幼児の保健、安全、福利厚生

4 教育委員会職員数

(単位：人)

所 属	職 種	一般職員	教諭	用務員	指 導 主事等	再任用 職 員	その他の職員 (会計年度任用職員)	計
事 務 局	教育部長	1	0	0	0	0		1
	理 事	0	0	0	0	1		1
	調 整 監	0	0	0	0	1		1
	総 務 課	8	0	0	0	0	事務	10
	学校施設課	11	0	0	0	0		11
	学 務 課	9	0	0	1	0		10
	学校再編課	4	0	0	0	0		4
	生涯学習課	8	0	0	0	1	社会教育指導員 放課後児童対策推進員	15
	スポーツ振興課	6	0	0	0	0		6
	指 導 課	6	0	0	6	0	生徒指導担当教育相談員 学力向上アドバイザー スクールソーシャルワーカー 外国語指導助手	17
小 計	53	0	0	7	3		13	76
幼 稚 園 (※市長事務部局 へ補助執行)	0	14	0	0	0		幼稚園用務員 幼稚園講師(担任) 知的・情緒障害児学級担当講師 障害児介助員 預かり保育員	42
小 学 校	0	0	2	0	4		学校事務員 学校図書事務員 学校用務員 少人数指導教員(短時間) 少人数指導教員(標準時間) 生活指導員 学校給食配膳員	184
中 学 校	0	0	0	0	0		学校事務員 学校図書事務員 学校用務員 生活指導員 学校給食配膳員	55
特別支援学校	0	0	0	0	0		特別支援学校看護員 特別支援学校障害児介護員 特別支援学校特別支援教育補助員 学校用務員 学校給食配膳員	11
小 計	0	14	2	0	4		272	292
図 書 館	26	0	0	0	3		図書館員 図書搬送員 子ども読書活動推進アドバイザー 事務 多賀図書館勤務員(行政経験有)	95
暇 修 館	0	0	0	0	0		暇修館管理人	1
郷 土 博 物 館	5	0	0	0	0		郷土博物館研究員 郷土博物館特別専門員 郷土教育アドバイザー 事務	15
調 理 場	5	0	0	0	1		学校給食共同調理場栄養士	10
教 育 研 究 所	5	0	0	2	0		教育相談員(学校訪問担当相談員) 教育相談員(適応指導教室担当相談員) こども発達相談センター相談員	35
視聴覚センター	0	0	0	0	0		視聴覚センター勤務員 事務	7
小 計	41	0	0	2	4		116	163
合 計	94	14	2	9	11		401	531

(令和4年5月1日現在)

5 令和4年度教育予算（歳出）

（単位：千円）

項目	予算額	人件費		その他
		人件費	その他	
教育費 （教育委員会予算）	7,877,447 (7,877,447)	1,985,152 (1,717,652)		5,892,295 (5,313,163)
1 教育総務費	1,110,674	664,144		446,530
1 教育委員会費	20,477	19,682		795
2 事務局費	530,620	431,220		99,400
3 教育指導費	336,623	118,187		218,436
4 特別支援学校費	102,891	24,277		78,614
5 教育研究所費	95,151	70,694		24,457
6 高等教育振興費	24,912	84		24,828
2 小学校費	967,846	203,959		763,887
1 小学校管理費	887,185	181,065		706,120
2 小学校教育振興費	80,661	22,894		57,767
3 小学校建設費	0	0		0
3 中学校費	886,214	93,544		792,670
1 中学校管理費	630,124	93,544		536,580
2 中学校教育振興費	59,369	0		59,369
3 中学校建設費	196,721	0		196,721
4 幼稚園費 （教育委員会予算）	718,098 (0)	200,121 (0)		517,977 (0)
1 幼稚園費 （教育委員会予算）	269,640 (0)	200,121 (0)		69,519 (0)
2 私立幼稚園振興費 （教育委員会予算）	448,458 (0)	0 (0)		448,458 (0)
5 社会教育費 （教育委員会予算）	1,032,220 903,686	652,705 585,326		379,515 318,360
1 社会教育総務費 （教育委員会予算）	561,860 496,758	468,161 403,059		93,699 93,699
2 図書館費	320,257	142,617		177,640
3 博物館費	57,710	22,515		35,195
4 視聴覚センター費	28,961	17,135		11,826
5 青少年育成推進費 （教育委員会予算）	34,874 (0)	66 (0)		34,808 (0)
6 青少年施設管理費 （教育委員会予算）	28,558 (0)	2,211 (0)		26,347 (0)
6 保健体育費	3,162,395	170,679		2,991,716
1 保健体育総務費	315,431	156,980		158,451
2 学校給食共同調理場費	1,219,572	13,699		1,205,873
3 体育施設費	1,627,392	0		1,627,392

※ 幼稚園費には「保健福祉部 子ども施設課」の予算を、社会教育費には「生活環境部 女性若者支援課」の予算を含んでいる。

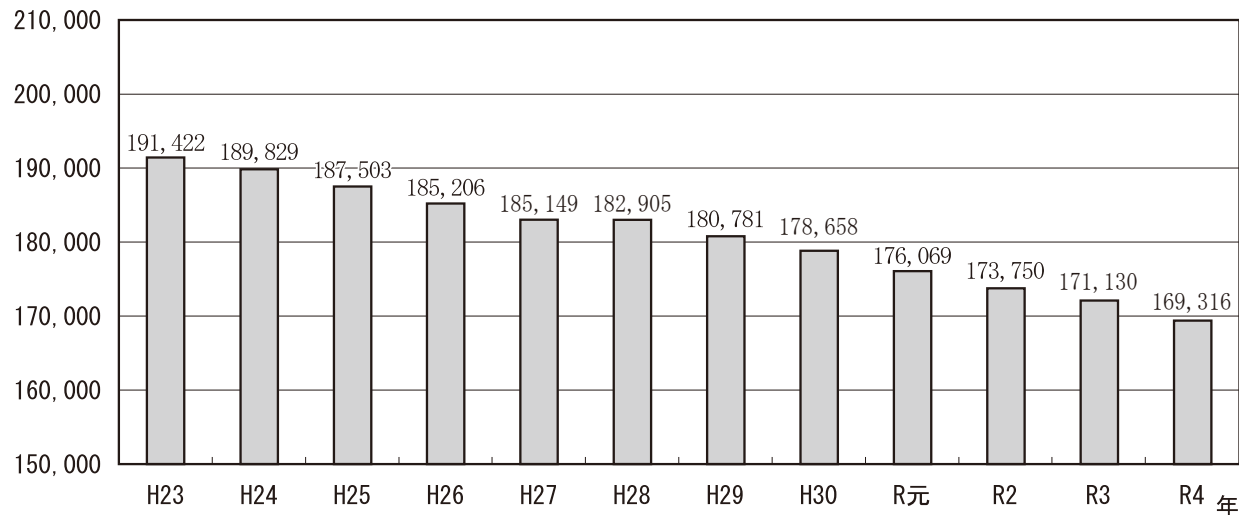
子ども施設課及び女性若者支援課の予算を除く教育委員会に関する予算は、（ ）内に掲載している。

III 学校教育

1 児童生徒数の推移

(1) 人口の推移

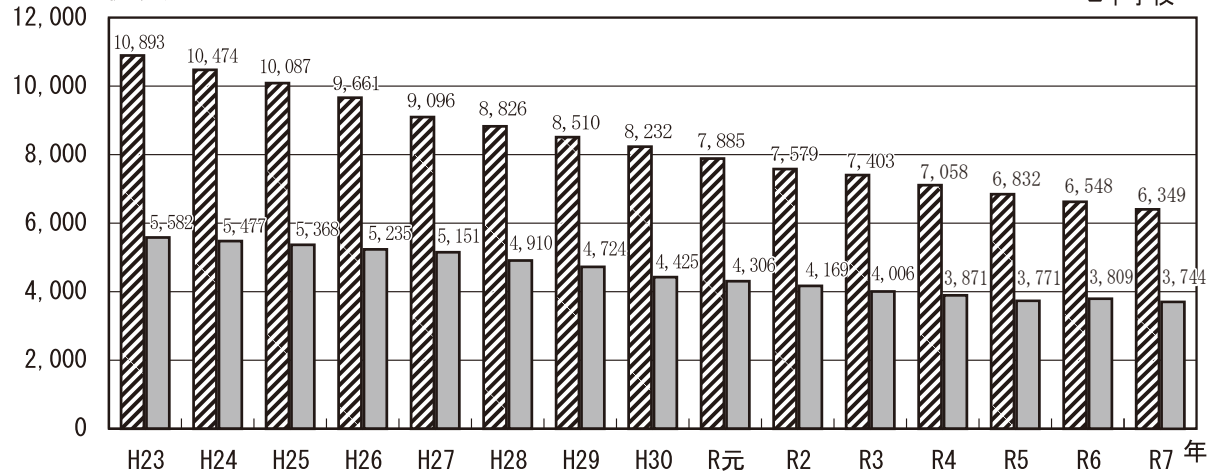
人口(人)



(各年10月1日現在の常住人口による〔令和4年のみ5月1日現在〕)

(2) 児童生徒数の推移と推計

児童・生徒数(人)



(各年5月1日現在)

(3) 今後4か年就学児推計

(単位：人)

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1,029	963	989	890

(令和4年4月1日現在)

2 学校等設置状況

(1) 幼稚園、認定こども園、小・中・義務教育・特別支援学校 令和4年5月1日現在（単位：人・㎡）

種別	校名	所在地	開設年月日	園児・児童数		学級数		教職員数		校地面積(㎡)		建物面積(㎡)等					保有教室数				
				男	女	計	普通	特別支援	教職員数	市職員数	敷地面積	左のうち運動場面積	鉄筋	鉄骨	木造	校計	舎計	建設年月	屋内運動場	普通(保育室)	特別(遊戯室)
幼稚園	会瀬	会瀬町2-17-10	S53.4.1	—	—	—	—	—	—	—	会瀬小学校敷地内	482	0	0	482	[H24.3]	—	1	1	無	
	大沼	東金沢町5-6-6	S50.4.1	11	5	16	2	—	6(4)	3,583	2,420	755	0	10	765	[S50.1]	—	3	1	無	
	田尻	田尻町4-39-2	S51.5.6	4	5	9	2	—	4(1)	5,360	2,901	704	22	20	746	[S51.5][S54.3]	—	2	1	無	
	櫛形	十王町伊師本郷506	S49.4.1	9	15	24	2	—	4(2)	4,956	937	0	533	12	545	[S58.2][S61.11]	—	2	1	無	
		計		24	25	49	6	—	14(7)	13,899	6,258	1,941	555	42	2,538		—	8	4	—	
こども園認定	みやた	本宮町2-10-22	H26.4.1	11	12	23	3	—	5	5,774	1,640	584	193	1,294	2,071	[H1.3][H26.3][R4.3]	—	2	1	有	
	はなやま	金沢町2-10-23	R24.1	9	9	18	3	—	4	4,270	730	290	0	791	1,081	[R1.9]	—	2	1	有	
		計		20	21	41	6	—	9	10,044	2,370	874	193	2,085	3,152		—	4	2	—	
	助川	助川町2-15-1	M6.7.27	174	182	356	12	5	31	0	31,511	15,865	6,060	10	40	6,110	[S52.1][S53.8][S54.9]	921	17	17	有
小学校	会瀬	会瀬町2-17-10	S14.4.3	124	124	248	9	4	33	0	20,910	9,480	4,640	20	20	4,680	[H24.3]	757	13	15	〃
	宮田	本宮町2-9-1	M6.6.27	180	185	365	12	5	27	0	19,964	9,497	5,332	0	40	5,372	[S45.3][S52.10][S54.1]	866	17	15	〃
	滑川	滑川本町1-20-7	S48.4.1	183	134	317	12	5	22	0	22,335	9,171	5,495	215	0	5,710	[S48.3][S50.2][H13.12]	780	17	14	〃
	仲町	宮田町5-5-1	T7.6.11	63	43	106	6	2	15	0	12,643	6,325	3,700	6	20	3,726	[S53.8][S55.8]	827	8	11	〃
	中小路	平和町2-4-1	S15.7.10	52	47	99	6	3	15	0	19,724	9,484	3,529	11	80	3,620	[S52.1][S53.8]	757	9	11	〃
	大久保	末広町1-1-1	M6.8.15	222	216	438	16	4	37	1	23,875	9,666	6,814	25	0	6,839	[S50.9][S51.9]	895	20	19	〃
	河原子	河原子町4-3-4	M22.7.8	99	79	178	6	3	16	0	15,470	8,372	4,384	8	40	4,432	[S44.3][S51.12][S56.3]	798	9	11	〃
	成沢	中成沢町3-16-8	M22.7.1	90	106	196	7	4	18	0	17,090	8,964	5,968	0	39	6,007	[S46.3][S46.12]	760	11	17	〃
	誠訪	誠訪町3-10-1	S44.4.1	136	128	264	11	3	25	1	30,832	11,227	5,190	26	20	5,236	[S57.3][H28.11]	729	14	10	〃
	水木	水木町1-6-1	M22.6.28	170	164	334	12	4	30	0	17,872	6,996	5,681	0	20	5,701	[S49.3][S55.2][H26.3]	779	16	16	〃
大みか	大みか町3-19-15	S49.4.1	108	102	210	7	4	19	0	16,850	9,219	4,192	0	60	4,252	[S49.3][S60.3]	797	11	8	〃	

※ 幼稚園の教職員数の（ ）内は、非常勤講師数(外数)を表す。

※ 会瀬幼稚園は令和2年4月1日から休園中。

※ 認定こども園の園児は、教育認定子ども的人数。

学校教育 (学校等設置状況)

種別	校名	所在地	開設年月日	児童生徒数			学級数		教職員数		校地面積 (㎡)		建築物面積 (㎡) 等				保有教室数		プール			
				男	女	計	普通	特別支援	職員数	職員数	敷地面積	左のうち運動場面積	鉄筋	鉄骨	木造	計	建設年月	屋内運動場		普通 (保育室)	特別 (聴覚室)	
																						校
小	大沼	東大沼町2-18	S 24.4.6	259	264	523	17	5	38	1	36,396	2,141.8	7,236	11	40	7,287	[S49.3][S50.7][S54.3]	885	22	19	有	
	金沢	金沢町5-2-1	S 46.4.1	120	113	233	9	4	24	0	24,172	6,788	5,204	0	72	5,276	[S46.3][S48.11]	758	13	17	〃	
	塙山	金沢町2-14-1	S 54.4.1	121	125	246	10	5	25	1	20,379	10,368	5,288	0	80	5,368	[S53.12]	790	15	18	〃	
	油繩子	鮎川町3-11-1	S 30.4.1	103	94	197	8	3	22	1	24,110	11,390	4,568	36	40	4,644	[S55.10][H27.3]	769	11	11	〃	
	田尻	田尻町4-39-1	S 52.4.1	183	186	369	12	6	35	1	33,349	13,710	7,128	0	40	7,168	[S51.10][S51.11][S52.11][S59.2]	798	18	19	〃	
	日高	日高町2-12-1	M 6.8.2	247	232	479	16	6	35	0	19,570	8,046	5,999	38	0	6,037	[R3.1]	809	22	11	〃	
	豊浦	折笠町741	M 6.8.1	249	224	473	15	4	29	0	40,542	12,619	6,924	0	20	6,944	[S56.3][R1.12]	772	19	10	〃	
	久慈	久慈町1-23-1	M 6.7.9	119	142	261	11	3	24	0	16,556	7,426	5,271	22	0	5,293	[S38.3][H3.12]	1,147	14	12	無	
	坂本	南高野町3-21-1	M 22.7.14	184	162	346	13	4	31	0	21,411	7,384	6,194	0	0	6,194	[S47.2][S49.5][H20.2]	757	17	17	有	
	東小沢	下土木内町617	M 7.7.15	7	4	11	3	0	10	0	13,464	8,027	0	1,934	40	1,974	[S50.6][S58.3]	748	3	10	〃	
中	柳形	十王町伊師本郷508	M 6.6.29	369	342	711	22	5	49	0	21,042	9,675	5,803	36	0	5,839	[S50.3][S51.7][S56.3]	739	27	13	〃	
	山部	十王町山部841	M 7.3.31	16	11	27	3	2	10	0	9,017	4,850	923	78	405	1,406	[S32.1][S55.3]	590	5	5	無	
	計			3,578	3,409	6,987	255	93	620	6	529,084	235,967	121,523	2,476	1,116	125,115		19,228	348	326	—	
	助川	鹿島町3-5-1	S 22.5.3	130	138	268	8	2	29	0	25,493	11,000	4,797	349	48	5,194	[S52.1][S53.8][H1.12][H25.7]	1,320	10	13	有	
	平沢	高鈴町1-15-1	S 23.9.10	11	20	31	3	1	15	0	26,191	11,815	2,406	230	15	2,651	[S47.7][S48.2][H1.5]	1,458	4	10	無	
	駒王	神峰町3-2-32	S 24.4.5	150	151	301	10	2	29	0	15,141	8,394	6,423	5	0	6,428	[H15.2]	1,246	12	25	有	
	滑川	東滑川町3-17-1	S 55.4.1	180	141	321	10	6	35	0	32,836	15,921	5,349	0	40	5,389	[S55.2]	1,194	16	15	〃	
	多賀	鮎川町3-11-2	S 22.5.3	151	152	303	9	4	29	0	31,096	19,265	7,594	16	100	7,710	[S49.3][S54.3][S60.3]	1,418	13	29	〃	
	大久保	末広町5-12-34	S 35.4.1	238	199	437	13	5	39	0	21,880	10,793	7,062	0	0	7,062	[S59.3][H23.3]	1,326	18	17	無	
	河原	東多賀町4-10-10	S 43.4.1	72	74	146	6	3	22	0	24,658	9,952	2,037	0	20	2,057	[S58.6]	1,526	9	8	〃	
高	泉	水木町2-9-1	S 26.4.1	258	248	506	15	5	40	0	35,807	15,399	6,029	523	60	6,612	[S49.5][H5.3][H12.10]	1,317	20	18	有	
	台原	台原町1-9-1	S 55.4.1	78	52	130	4	2	19	0	29,221	13,217	6,701	0	40	6,741	[S55.2]	1,183	6	25	〃	
	日高	小木津町3-26-1	S 22.5.3	174	150	324	10	4	31	0	24,961	12,354	6,631	0	0	6,631	[H23.12]	1,425	14	14	〃	
	豊浦	川尻町3-11-1	S 22.5.3	120	114	234	7	2	22	0	48,060	30,943	3,800	8	40	3,848	[S54.2][S60.3]	1,332	9	15	〃	
	久慈	久慈町6-20-2	S 22.5.3	152	143	295	9	3	27	0	23,566	10,542	4,991	9	40	5,040	[S52.12][S53.12][S57.3]	1,537	12	16	無	
	坂本	石名坂町1-30-1	S 22.5.3	25	31	56	3	2	18	0	22,482	8,600	2,120	29	20	2,196	[S57.3]	754	5	10	有	
	十王	十王町友部600	S 35.4.1	237	217	454	15	3	37	0	33,962	13,611	4,682	349	20	5,051	[S46.2][S57.3][S60.2][H6.12]	1,656	18	13	無	
	計			1,976	1,830	3,806	122	44	392	0	395,374	191,806	70,622	1,518	443	72,610		18,692	166	228	—	
	義務教育学校	中里中学校 (前期)			16	10	26	3	0	6	0											
		中里中学校 (後期)	東河内町1953-1	R 4.4.1	11	15	26	3	0	14	0	15,030	4,875	431	0	2,435	[R4.2]	721	6	5	有	
日立特別支援学校	鮎川町3-11-2	S 43.4.1	86	54	144	19	21	88	0	14,087	6,918	3,728	69	55	3,852	[S50.6][S54.12][S60.3]	669	38	3	有		

※ 日立特別支援学校は、高等部を含み、特別支援学級に訪問学級2を含む

令和4年5月1日現在（単位：人・㎡）

(2) 私立幼稚園及び認定こども園

種別	園名	所在地	電話	設置者名	園長氏名	職員(人)			園児数(人)					園舎面積(㎡)	園地面積(㎡)	園舎構造	認可定員(人)		
						園長	教諭	その他	満3才	3才	4才	5才	計						
幼稚園	三つ葉	石名坂町1-10-3	(52)2745	学校法人 根本学園	根本 杉子	1	5	2	0	12	12	21	45	3	3,562	764	鉄骨造	80	
	日高	日高町2-10-10	(42)4536	学校法人 茅根学園	茅根 宣恵	0	9	11	2	38	29	49	118	5	7,033	2,205	鉄筋造 鉄骨造	300	
	池の川	中成沢町2-8-29	(35)6872	学校法人 のびろ学園	副島由美子	0	9	4	0	21	30	22	73	4	4,233	994	鉄骨造 木造	175	
	諏訪かおる	多賀町5-8-4	(33)8197	学校法人 小野学園	小野 芳樹	1	14	6	1	40	30	37	108	6	1,698	730	鉄骨造 木造	120	
	ひばり	城南町2-7-22	(22)7302	学校法人 城南学園	額賀 力	1	4	7	0	11	19	16	46	3	3,505	849	木造	90	
	すぎの子	東大沼町2-13-22	(36)1486	学校法人 佐藤学園	佐藤 かつ	1	4	1	1	3	7	8	19	4	2,374	507	木造	160	
	めぐみが丘	森山町2-20-9	(52)3681	学校法人 加藤学園	加藤 巧	1	1	0	0	0	0	3	3	1	2,503	483	木造	105	
	もみや	戎宮町188	(53)6578	学校法人 宮田学園	宮田 公友	1	15	2	0	26	33	37	96	5	3,349	1,993	鉄筋造 鉄骨造	280	
		計			8園		6	61	33	4	151	160	193	508	31	28,257	8,525	—	1,310
	認定こども園	茨城キリスト教大学附属 認定こども園みらい園	大みか町6-11-1	(53)9411	学校法人 茨城キリスト教学園	小幡 幸和	1	26	10	0	31	31	32	94	6	5,354	1,501	鉄筋造	180
茨城キリスト教大学附属 認定こども園せいしん園		助川町1-16-1	(24)5111	学校法人 茨城キリスト教学園	小幡 幸和	1	23	10	0	21	31	25	77	6	1,128	1,334	鉄骨造	160	
おおくぼ認定こども園 大久保幼稚園		大久保町4-10-7	(33)2274	学校法人 公土園	岡部 和子	1	19	4	2	32	10	28	72	5	6,000	988	鉄筋・鉄 骨・木造	160	
幼保連携型認定こども園 おぎつ幼稚園		砂沢町364-9	(42)2029	学校法人 中崎学園	川崎ひろ子	0	14	10	1	19	20	20	60	6	7,148	1,878	鉄骨造	160	
認定こども園ほえみ 水木わかば幼稚園		水木町1-20-12	(52)5991	学校法人 たみ学園	門岡 紋子	1	15	5	1	2	3	1	7	3	1,184	405	木造	62	
いしまち認定こども園		十王伊師3447-1	(39)5250	社会福祉法人 愛孝会	佐藤 典子	0	24	19	0	6	3	4	13	5	6,017	2,244	鉄筋・鉄 骨・木造	190	
こどものいえ 認定こども園		日高町1-14-11	(43)6494	社会福祉法人 秀心会	見城智恵子	1	25	10	0	2	5	4	11	3	4,254	1,645	鉄骨造 木造	120	
多賀さくら 認定こども園		東金沢町4-2-1	(59)3355	社会福祉法人 聖愛会	鈴木 順子	0	32	15	0	6	5	6	17	6	3,603	1,699	鉄筋・鉄 骨・木造	240	
認定こども園 十王幼稚園・保育園		十王町友部566-1	(39)2613	学校法人 山の尾学園	櫻村 雅子	1	33	6	0	30	27	34	91	6	8,626	1,973	鉄筋・鉄 骨・木造	280	
認定こども園 ひがしなるさわ幼稚園		東成沢町3-16-8	(35)7539	学校法人 しみず学園	池澤由実子	1	16	6	0	19	19	11	49	3	1,623	857	鉄筋造	95	
認定こども園ほえみ 学びの森わかば園	森山町1085-1	(33)8822	学校法人 たみ学園	櫻本恵美子	0	25	15	1	12	9	12	34	3	7,605	977	木造	93		
すけ川幼稚園	諏訪町1-14-6	(33)1736	学校法人 助川学園	大江日出雄	0	5	9	0	10	10	14	34	3	1,332	531	木造	75		
	計			12園		7	257	119	5	190	173	191	559	55	53,874	16,032	—	1,815	

※ 園児数は、市外からの通園児を含まない。認定こども園の園児は、教育認定子ども園の人数。幼保連携型認定こども園の「教諭」は、「教育・保育教諭」と読み替える。

(3) 私立小学校、中学校、高等学校及び大学

(令和4年5月1日現在)

学 校 名	所 在 地	学 科	学級数	児童・生徒・学生数	
小 学 校	私立久慈川三育小学校	留町1097-2	—	3	11
中 学 校	私立茨城キリスト教学園	大みか町6-11-1	—	9	263
	県立日立第一	若葉町3-15-1	—	6	239
高 等 学 校	県立日立第一	若葉町3-15-1	普通科 サイエンス科	19	714
	県立日立第二	鹿島町3-2-1	普通科	12	420
	県立日立工業	城南町2-12-1	全日制・機械科 電気科 情報電子科 工業化学科	15	430
			定時制・総合学科	4	14
	県立多賀	鮎川町3-9-1	普通科	18	707
	県立日立商業	久慈町6-20-1	商業科・情報処理科	15	588
	県立日立北	川尻町6-11-1	普通科	18	676
	私立明秀学園日立	神峰町3-2-26	全日制・普通科	28	940
			通信制・普通科	24	783
	私立茨城キリスト教学園	大みか町6-11-1	普通科	25	821
	私立翔洋学園	大みか町4-1-3	通信制・普通科	—	3,245
私立科学技術学園日立	西成沢町2-17-1	通信制・機械科	8	198	
大 学	国立茨城大学	中成沢町4-12-1	(工学部) 機械システム工学科 電気電子システム工学科 物質科学工学科 情報工学科 都市システム工学科	—	1,930
			(文学部) 文化交流学科 現代英語学科 児童教育学科	—	1,137
	私立茨城キリスト教大学	大みか町6-11-1	(生活科学部) 心理福祉学科 食物健康科学科	—	630
			(経営学部)経営学科	—	310
		(看護学部)看護学科	—	354	

※国立茨城大学の学生数は、日立キャンパスに在籍している人数

3 学校再編の推進

(1) 学校再編推進事業

学校小規模化の進行が見込まれる中、子どもたちのより良い学習環境を確保するため、市立小中学校の適正配置の検討を進め、今後おおむね10年間に取り組む個別具体的な内容を明らかにするための「日立市立学校再編計画」を令和3年2月に策定した。この学校再編計画に基づき、順次統合を進める。

(参考)「日立市立学校適正配置基本方針（平成30年3月策定）」における「目指す学校規模」

【小学校】 クラス替えができる各学年2学級以上

【中学校】 クラス替えができ、かつ、国語、社会、数学、理科、英語に複数教員が配置できる各学年3学級以上

(2) 事業内容

ア 統合準備委員会の設置・運営

(ア) 統合対象校の教職員、保護者及び学校運営協議会委員等への説明（計画内容の共有）

※ 中学校の統合に係る説明は、関係小学校の保護者等にも行う。

(イ) 令和4年度設置対象校（3グループ）

① 駒王中・平沢中

② 久慈中・坂本中

③ 宮田小・仲町小・中小路小

【設置済み】 山部小・橿形小、東小沢小・坂本小

※ は再編後の学校の位置

イ 学校跡地活用検討委員会（令和3年12月設置）の運営

(ア) 学校再編により用途廃止となる学校の校舎や敷地等について、適正な管理と利活用が行えるよう、長期的かつ多様な視点から検討する。また、本検討委員会の効率的な運営のため下部組織である作業部会において、より具体的な協議を行う。

(イ) 学校跡地活用基本方針を作成後、個別の学校についての利活用方法（計画）を検討する。

ウ 中里小学校・中里中学校の統合に伴う義務教育学校の創設

(ア) 教職員、保護者及び学校運営協議会等への説明（説明内容の共有）

(イ) 統合準備委員会を令和3年8月に設置し、学校名の選定方法や児童生徒の服装等について協議。

(ウ) 中里小学校と中里中学校を統合し、令和4年4月に県北初の義務教育学校を開校。

4 教育指導

(1) 日立市の学校教育目標

ア「たくましい体をつくる」

「たくましい体をつくる」とは、いわゆる心身両面の真の健康づくりを意味するものであり、すこやかな精神とじょうぶな体を育てることである。最近の生活環境の変化として、遊び場がない、仲間と体を思い切り動かして遊ぶということもないなど、子どもたちの「たくましさ」の育つ土壌が少なくなってきたことがあげられる。

これらに対処するためにも、学校体育、学校保健・安全、食育・学校給食、社会体育の充実そして、余暇活用能力の育成が求められている。特に、学校の教育活動の全体を通じて「生涯を健康に過ごす」「生涯にわたってスポーツを続けていく」等の態度を培うように心がけることである。

そのためには、子どもたちの豊かな体験活動を大事にし、それを通して「たくましさ」を身に付けていくことが大切である。

イ「科学する力を養う」

「科学する力を養う」とは、身近な社会、数理、自然事象に即して考え、その姿を客観的、分析的、総合的に把握し、真理を見出し、未知のもの、新しいものを発見し、創造していく問題解決の能力と態度を育てることである。

社会の急激な変化、情報化、国際化などの時代が進展する中で、科学する力の育成が肝要である。学校教育は、そのためにそれぞれの教科の本質や単元・教材の目標や内容に応じて、体験的な学習や問題解決的な学習を重視した主体的な学習活動によって、基礎的・基本的な概念を具体的に把握できるようにすることが大切である。

また、これからは生涯学習の基盤を培うという観点に立ち、社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成を目指して、創造的な知性と技能を育てる教育を重視していかなければならない。

ウ「思いやりの心を培う」

「思いやりの心を培う」とは、人間的な弱さや欠点を持っている人間同士が出会ったときに、相手の苦しみや悲しみの状況を相手の立場に立って（その人の苦しみ、悲しみ、そして、悩みを）共に感じ、少しでも心が和らぐように配慮する心情を育てることである。人間は苦しみや悩みを抱きながら精一杯生きているのが真実の姿であって、それへの共感と自覚なしには、本当の思いやりの心は発揮されないであろう。こうした心は言葉だけでなく、日常生活の種々の行為として現れてくるものである。思いやりの心を育てるには、教師がまず思いやりの心をもって子どもたちに接し、実践することである。さらに、教育活動全体を通じて子どもたちの豊かな情操を養うことが大切である。

(2) 目指す子どもの姿「ひたちっ子」

- ・㊶ 広い視野で世界にはばたく 考える子
- ・㊷ たくましく未来を切り拓く 元気な子
- ・㊸ 地域を愛し心豊かに生きる やさしい子

ア 広い視野で世界にはばたく考える子

国際的な視野に立って物事を考え、行動する力をもてるようにするためには、日本人としての誇りを大切にしながら、コミュニケーション能力や表現力などを高めていくことが重要で

基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことにより、社会に貢献する子どもの育成を目指します。

イ たくましく未来を切り拓く元気な子

自らに誇りをもち、変革の時代にあってもたくましく未来を切り拓く力を身に付けるためには、すべての子がお互いの人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かち合いながら、その個性と能力を十分に発揮できる環境をつくることが重要です。

少子化や核家族化の進展等により、子どもたちが他者と関わる機会が減少する中で、社会全体で子どもを育てる気運を高めることにより、根気強く最後まであきらめずに物事に取り組む子どもの育成を目指します。

ウ 地域を愛し心豊かに生きるやさしい子

高度情報化社会が到来し、社会・経済がグローバル化する中で、郷土日立の伝統や文化を学び、自然に親しみ、地域を愛することは、子どもたちの豊かな人間性と社会性を育むために重要です。

他者を思いやる心、美しいものに感動する心、正義感や公正さを重んじる心、勤労観・職業観など、道徳教育や体験活動の充実を図りながら、豊かな心と創造力のあふれる子どもの育成を目指します。

(3) 学校教育施策の柱及び方向性

ア 確かな学力の定着と活用する力の育成

- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 学びの連続性を大切にした教育活動の展開
- 家庭・地域と連携を図った様々な教育活動の充実
- 学力と感性を磨く読書活動の充実

イ 子ども一人一人に寄り添う教育の推進

- 自立と社会参加する力の育成
- 寄り添い支える指導力の向上
- いじめ・不登校対策の推進
- 教育相談体制の充実

ウ 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- 自己肯定感・自己有用感を高め、未来を切り拓いていく子どもの育成
- 感動する心を養う活動の充実
- 郷土を愛し、広く社会に貢献する子どもの育成
- 体力の向上と健康的な生活習慣の形成

エ 次代を担う力を磨き高める教育の推進

- 自ら学び、考え、社会を生き抜く力の育成
- 次世代を生き抜くための情報活用能力の育成
- 国際社会で活用でき、主体的に行動する態度や能力の育成
- 科学的思考力の基礎となる理数教育の充実

オ 学習環境の充実と地域とともにある魅力ある学校づくり

- 学習環境の整備・充実
- 地域とともにある学校づくり
- 自ら危険を回避し行動できる安全・防災教育
- 保護者の負担軽減

カ すべての子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所づくり

- 子どもの居場所の整備・充実
- 学ぶ意欲に応える支援
- 配慮が必要な家庭への支援

(4) 令和4年度研究指定園・校

学校教育における教科・領域及び学習指導上の諸問題について、研究指定校を委嘱し、学校の実態に立脚した実践研究を進め、その成果を本市学校教育の振興に役立てるとともに、特色ある学校づくりを推進する。

〔茨城県教育委員会〕

学 校 名	指 定 内 容	指定期間
滑川小学校	体育大好き推進事業（推進校）	令和4～6年度
田尻小学校	体育大好き推進事業（拠点校）	令和4～6年度
仲町小学校	学力向上推進プロジェクト事業に係る授業力パワーアップ訪問校	令和4年度
大久保小学校	いばらきサイエンスキッズ育成事業「小学校における理科専科教員等による授業公開」	令和4年度
水木小学校	新たな体験学習プログラム	令和4年度
大みか小学校	日立みらいイノベータプログラム	令和4年度
日高小学校	新規採用教員(特別支援学校)協力校	令和4年度
日高中学校	1人1台端末を活用した学びのイノベーション推進プロジェクト	令和4年度
駒王中学校	保健体育課計画訪問	令和4年度
滑川中学校	英語発信力向上事業に係る授業力アップサポート訪問校	令和4年度

(5) 中卒者の進路状況

(学校基本調査による)

卒年度	卒業者数 (人)	進学者数 (人)	進学率 (%)	県進学率 (%)	就職者数 (人)	就職率 (%)
平成28	1,906	1,893	99.3	97.2	1	0.1
29	1,870	1,860	99.5	98.9	2	0.1
30	1,682	1,674	99.5	97.4	0	0.0
元	1,509	1,503	99.6	98.5	0	0.0
令和2	1,398	1,388	99.3	98.9	2	0.1

(6) 長欠児童生徒の推移（30日以上）

（単位：％）

年度	小 学 校			中 学 校		
	日立市	茨城県	全 国	日立市	茨城県	全 国
	(0.29)	(0.51)	(0.47)	(2.81)	(3.14)	(3.14)
平成29	1.09 (0.44)	1.05 (0.57)	0.87 (0.54)	3.92 (2.81)	4.01 (3.10)	3.96 (3.25)
30	0.92 (0.45)	1.23 (0.81)	1.30 (0.70)	3.74 (2.23)	4.38 (3.45)	4.76 (3.65)
令和元	1.43 (0.79)	1.50 (0.90)	1.41 (0.83)	5.33 (4.18)	4.82 (3.78)	5.01 (3.94)
2	1.28 (0.94)	1.83 (1.06)	1.80 (1.00)	6.39 (4.91)	5.21 (3.95)	5.36 (4.09)
3	2.04 (1.32)			7.07 (5.46)		

※（ ）内は「不登校」のみの比率

(7) 令和3年度 体力・運動能力調査平均値の市と県の比較

平均値は市、県ともに令和元年度のもの
 ◎印は市の平均値が県の平均値を上まわっているもの
 ○印は市の平均が県の平均値と同じもの

(茨城県学校保健会の資料による)

	子																	
	男									女								
	小1		小2		小3		小4		小5		小6		中1		中2		中3	
握力 (kg)	9.0	9.3	10.7	10.8	◎12.7	12.6	14.4	◎16.7	16.6	◎20.0	20.0	◎25.1	24.3	◎30.1	29.8	◎34.7	34.6	
上体起こし (回)	◎13.2	12.3	◎15.2	14.9	◎17.6	17.2	18.8	◎20.7	20.4	◎23.1	22.3	◎25.7	24.3	◎29.7	27.4	◎31.1	29.7	
長座体前屈 (cm)	26.3	26.6	◎29.5	29.1	◎32.0	30.7	32.7	◎37.8	35.7	◎38.5	38.4	◎44.3	41.8	◎50.4	46.9	◎53.3	50.1	
反復横とび (回)	27.0	27.5	◎32.4	31.6	33.6	34.7	38.8	◎42.8	42.4	◎46.0	45.6	48.0	48.1	◎54.0	52.5	◎56.4	55.3	
20mシャトルラン (回)	21.4	21.8	◎32.1	30.2	◎40.9	38.5	45.4	◎54.7	52.2	◎60.3	59.5	◎72.4	66.5	◎89.4	84.5	◎96.5	92.4	
50m走 (秒)	◎11.4	11.5	○10.6	10.6	◎9.9	10.1	9.6	◎9.2	9.3	○8.8	8.8	◎8.3	8.4	◎7.6	7.7	○7.3	7.3	
立ち幅とび (cm)	116.4	116.6	125.4	127.0	◎141.9	137.9	145.3	153.4	153.9	165.6	166.0	◎183.1	180.8	◎205.3	200.6	◎215.6	214.6	
ソフト・ハンドボール投げ(m)	7.7	8.0	10.7	11.0	◎14.1	14.0	17.2	19.5	20.4	24.4	24.7	17.6	17.9	20.8	21.3	23.5	24.1	
合計点 (点)	31.3	31.5	◎38.8	38.4	◎45.3	44.3	◎50.7	◎55.5	54.8	◎61.3	61.0	◎36.5	34.7	◎47.2	44.5	◎53.1	51.4	

	子																	
	男									女								
	小1		小2		小3		小4		小5		小6		中1		中2		中3	
握力 (kg)	8.6	8.8	10.2	10.3	12.0	12.2	14.1	◎17.0	16.7	◎20.0	19.7	◎22.0	21.9	◎24.9	24.3	◎25.9	25.9	
上体起こし (回)	○12.2	12.2	14.3	14.5	○16.8	16.8	18.6	◎20.1	19.8	◎21.5	20.9	◎22.7	21.4	◎25.8	24.1	◎27.0	25.4	
長座体前屈 (cm)	◎28.9	28.9	◎32.3	31.6	◎35.3	33.9	36.7	◎42.2	40.0	◎44.1	43.2	◎47.9	45.7	◎52.5	49.6	◎54.1	52.1	
反復横とび (回)	26.2	26.9	◎31.0	30.9	33.1	34.3	37.8	◎41.8	41.3	◎43.8	43.5	◎44.9	44.5	◎48.4	47.7	◎49.3	48.5	
20mシャトルラン (回)	18.3	18.5	◎26.4	25.3	◎33.5	31.7	38.6	◎48.2	45.9	◎50.4	49.8	◎56.1	51.5	◎65.0	59.3	◎62.3	58.8	
50m走 (秒)	○11.8	11.8	○10.8	10.8	○10.3	10.3	9.8	◎9.3	9.4	◎9.0	9.1	◎8.8	8.9	◎8.4	8.6	◎8.4	8.5	
立ち幅とび (cm)	108.0	109.3	119.5	120.8	◎133.2	131.4	139.8	148.5	149.4	◎157.9	157.6	◎166	163.7	◎175.5	172.8	◎175.6	175.4	
ソフト・ハンドボール投げ(m)	5.7	5.9	◎7.9	7.9	9.7	9.8	12.0	14.3	14.4	16.3	16.4	11.7	11.9	◎14.1	13.7	◎15.1	14.7	
合計点 (点)	31.8	32.3	◎40.1	39.9	◎46.7	46.4	◎52.9	◎59.2	58.2	◎63.8	63.0	◎47.4	45.5	◎55.4	52.9	◎56.9	55.7	

5 教育研究所事業

(1) 基本方針

日立市の学校教育の充実・発展に寄与するため、教育課題についての先導的・実践的な調査研究、教職員の資質向上のための研修、教育相談、教育情報の収集・提供等を行う。

(2) 重点事項

- ア 教育課題解決のための専門的・技術的な事項の調査研究の充実
- イ 教育専門職としての資質向上のための教職員研修の充実
- ウ 幼児・児童生徒支援のための教育相談の充実
- エ 教育情報の収集・提供の充実

(3) 事業内容

ア 教育課題調査研究事業

今日的な教育課題に関する調査研究を実施し、園・学校の教育活動がより円滑に推進できるよう成果の普及に努める。

- (ア) 教育課題解決のための専門的・技術的な調査研究
 - (イ) 幼児・児童生徒の学習や生活に関する意識や実態についての調査研究
 - (ウ) 幼児・児童生徒理解のための教育的資料の作成や教育情報の収集と提供
 - (エ) 教育課題調査研究会議の設置
 - ・調査研究員に委嘱した教職員による今日的な教育課題についての実態調査
 - ・本市教育の充実・発展を図るための調査研究と成果の普及

イ 教育相談事業

学校訪問担当相談員の学校派遣や適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」の設置・運営を行い、児童生徒、保護者及び教職員に対して教育相談を実施することにより、不登校・発達障害など教育上の諸問題の早期解決を図る。

- (ア) 学校訪問相談
 - 面接相談…主に不登校や登校しぶりの児童生徒や保護者、教職員との面談
 - 家庭訪問…不登校や登校しぶりの児童生徒の家庭への訪問
 - 事例検討…生徒指導部員会や個別のケース会議への出席
- (イ) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」（多賀教室、日立教室）の運営
 - 不登校に陥っている児童生徒の生活と活動の場として「ちゃれんじくらぶ」を設置し、仲間とのふれあいを通して自立心や適応力を養い、社会生活への自立を目指した支援を行う。
- (ウ) 不登校対策支援
 - 体験活動の実施（栽培、制作、調理、野外活動、校外学習等）
 - 保護者への支援（教育相談、家庭訪問、保護者の集い等）
 - 不登校に関する研修会の実施
- (エ) 教育相談員の研修
 - 相談活動に見られる事例研究や協議
 - 専門的な分野の研修

ウ 教職員研修事業

本市教育の充実・発展を目指して、教育実践上の課題解決のための研修と教育専門職としての資質・職能の向上を図る。

- (ア) 職層や経験に応じた研修
- (イ) 専門性を高める研修
- (ウ) 特別研修
- (エ) 共催研修（幼稚園・こども園教育研究会、市教育研究会専門部）
- (オ) その他の研修

エ 日立市こども発達相談センターの運営

発達障害に関わる悩み相談、心理検査、小集団によるスキル指導、医療相談、幼稚園・保育園等への巡回訪問、理解啓発のためのリーフレットの配布及び研修会等を実施し、発達障害を含む障害のある子どもやその保護者に対して、早い段階から一貫した支援を行うことにより、園や学校生活における不安軽減を図る。

- (ア) 所内相談…センター内で教育相談員が対応する面接相談・電話相談
- (イ) 巡回訪問…教育相談員が保育園・幼稚園・認定こども園に訪問し情報交換を実施
- (ウ) 医療相談…小児科・心療内科等の医師が対応する相談
- (エ) 心理検査…教育相談員によるWISC・田中ビネー等の検査を実施、小中学校へ心理検査員を派遣
- (オ) 各種研修会…教職員・保育士・保護者・市民対象の発達障害に関する研修会、教職員対象の発達障害対応実技研修会
- (カ) 小集団活動…少人数によるソーシャルスキルの手法を取り入れた「なかよし教室」の実施
- (キ) 小集団活動実践研修…幼稚園教諭及び保育士を対象とした、なかよし教室におけるソーシャル・スキル・トレーニング指導力向上を図る研修
- (ク) 関係機関との連携…保健所の発達相談支援事業への参加（年4回）、日立市子どもセンターの総合相談への派遣（月2回）、健康づくり推進課の5歳児健康診査への協力

オ 広報に関する事業

- (ア) 広報紙「りさーち」の発行
- (イ) 研究紀要・研究報告書の発行
- (ウ) 教育相談案内のリーフレット作成、配布
- (エ) 特別支援サポート体制のリーフレット作成、配布
- (オ) ホームページによる情報提供

(4) 令和3年度各種事業の実施状況

ア 調査研究

令和3年度「研究紀要」及び「研究報告書 使おう！活かそう！GIGA2021～日立市ICT活用ブック～」の作成、発行

イ 教育相談

(ア) 学校訪問相談の概要（令和3年度）

○相談人数と延べ相談件数 (実数：相談者の人数、延べ数：相談を受けた件数)

小学生		中学生		保護者		教職員		合 計	
実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数
223	1,075	197	978	147	331	30	95	597	2,479

○学年別相談人数 (人)

種 別	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計
小学生	14	25	39	54	44	47	223
中学生	53	73	71				197

○主訴別相談人数

(相談内容について) (人)

種 別	小学生	中学生	合 計
友人関係に関する相談	122	103	225
家庭生活に関する相談	26	17	43
身体・健康に関する相談	5	21	26
教職員との関係に関する相談	6	3	9
学業・進路に関する相談	11	3	14
無気力に関する相談	6	7	13
非行に関する相談	0	0	0
いじめに関する相談	0	0	0
その他	47	43	90
合 計	223	197	420

(不登校との関係) (人)

種 別	小学生	中学生	合 計
相談内容のうち、不登校に関連付けられる相談	45	81	126
相談内容のうち、不登校との関連が無い相談	178	116	294
合 計	223	197	420

(イ) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」の概要

- 在籍者数：小中学生 20人（多賀教室11人、日立教室9人）
- 体験活動（常時活動の中での創作活動、英語活動など）
- 学習支援
- 家庭や学校との連携（在籍校教職員の活動参観、保護者会（年3回））
- 不登校対策支援事業への参加

(ウ) 不登校対策支援事業の概要

- 体験活動（歴史・動物ふれあい体験（郷土博物館・かみね動物園））
- 不登校に関するオンライン研修会（1回）

(エ) 教育相談員研修（2回）

ウ 教職員研修

(ア) 職層や経験に応じた研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	初 任 者 研 修 会	28	本市の学校教育の方針、初任者としての心得
2	特別支援教育研修会（2回）	92	特別支援教育コーディネーターの役割、保護者や関係機関との連携の仕方 WISC検査を含めた、みとりからの支援
3	幼児教育と小学校教育の接続のための研修会	59	幼児教育をめぐる動向、幼児教育スタートプランの必要性、接続のためのポイント

(イ) 専門性を高める研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	教師力パワーアップ講座① （教育論文）	12	教育論文の構想と書き方
2	教師力パワーアップ講座② （配慮を要する児童生徒への教育）	18	アセスメントから始まる支援 発達凸凹や愛着形成に課題がある児童生徒への対応
3	教師力パワーアップ講座③ （プログラミング教育及びICT機器を活用した授業改善）	38	プログラミング教育の必要性、プログラミング学習をとおして実現できること
4	Q U 活 用 研 修 会	42	QU検査でわかること、データのパターンから見た学級の傾向や個人への支援法

(ウ) 特別研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	一 般 教 養 研 修 会（2回）	75	自分らしい暮らし方、働き方を考える 現代の子どもたちとネット・ゲーム依存

(エ) 共催研修（幼稚園・こども園教育研究会・市教育研究会専門部）

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	幼 稚 園 学 級 経 営 研 修 会	34	一人一人の幼児が発達に必要な経験を重ねながら育ち合うための援助の在り方
2	幼 稚 園 実 技 研 修 会	30	日常の保育に活用できるリズム遊びやゲーム
3	道 徳 科 指 導 法 研 修 会	44	道徳科の授業づくり
4	夏 季 社 会 科 実 技 研 修 会	30	新聞の秘密を学ぼう
5	第1回発達障害の理解と支援研修会※	44	発達障害についてのアウトラインや困難さの理解と支援

※ 保護者・一般市民も受講対象

(オ) その他の研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	不 登 校 に 関 する 研 修 会※	29	4つの注意機能等、つまずきの原因となるものや感覚過敏、ASD等についての説明や支援法
2	第2回発達障害の理解と支援研修会※	66	感覚処理の偏りの4つのパターンに応じた支援の仕方、本人の「こだわり」を生かす視点

※ 保護者・一般市民も受講対象

エ こども発達相談センターの概要

(ア) 所内相談の概要（令和3年度）

○月別相談件数（延べ件数）

(件)

種別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面接相談	14	18	30	36	37	46	45	38	38	37	47	42	428
電話相談	11	23	36	34	18	30	29	26	40	49	27	29	352
合計	25	41	66	70	55	76	74	64	78	86	74	71	780

※面接相談の延べ件数428件に対する実人数は179人

○面接相談者の年齢構成の内訳（合計179人）

(人)

種別	4歳児	5歳児	6歳児	小学1年	小学2年	小学3年
人数	2	31	16	28	15	20
種別	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
人数	26	11	5	13	7	5

○面接相談の内訳（合計428件）

種別	件数
発達障害に関する相談	305
知的障害に関する相談	12
その他	46
不登校・登校しぶり	65
重複	0

(イ) こども発達相談センター主催研修会

○ 発達障害の理解と支援研修会（2回）

6 特別支援教育

(1) 特別支援学級設置状況及び児童生徒数（種類別、学校別、学年別）

ア 知的障害「令和3年度教育支援委員会審議対象者の就学状況」（P28参照）

イ 言語障害、自閉症・情緒障害

（単位：人）

学 年		1	2	3	4	5	6	合計
小学校	助川小（自閉・情緒）	—	3	5	2	5	2	17
	会瀬小（自閉・情緒）	1	—	4	2	5	5	17
	宮田小（自閉・情緒）	3	2	4	3	3	3	18
	滑川小（自閉・情緒）	4	1	1	3	4	6	19
	仲町小（自閉・情緒）	2	—	2	—	4	4	12
	中小路小（自閉・情緒）	1	2	1	—	2	3	9
	大久保小（自閉・情緒）	5	—	2	4	2	2	15
	河原子小（自閉・情緒）	—	4	1	3	1	1	10
	成沢小（自閉・情緒）	2	1	3	6	3	2	17
	諏訪小（自閉・情緒）	1	5	1	4	1	1	13
	水木小（自閉・情緒）	—	2	1	3	3	—	9
	大みか小（自閉・情緒）	—	4	2	1	6	5	18
	大沼小（自閉・情緒）	2	3	2	2	3	6	18
	金沢小（自閉・情緒）	2	1	4	7	5	—	19
	塙山小（自閉・情緒）	3	1	4	3	5	1	17
	油縄子小（自閉・情緒）	3	2	2	—	4	1	12
	田尻小（自閉・情緒）	1	5	1	4	8	2	21
	日高小（言語）	—	1	—	—	—	—	1
	日高小（自閉・情緒）	2	3	3	4	3	3	18
	豊浦小（自閉・情緒）	2	3	2	5	2	—	14
	久慈小（自閉・情緒）	1	—	2	8	3	2	16
	坂本小（自閉・情緒）	2	—	4	2	3	1	12
	櫛形小（自閉・情緒）	2	4	1	2	1	3	13
山部小（自閉・情緒）	—	—	—	2	1	1	4	
小 計	39	47	52	70	77	54	339	
中学校	助川中（自閉・情緒）	1	2	2	—	—	—	5
	平沢中（自閉・情緒）	—	—	1	—	—	—	1
	駒王中（自閉・情緒）	6	—	1	—	—	—	7
	滑川中（自閉・情緒）	9	7	4	—	—	—	20
	多賀中（自閉・情緒）	—	3	7	—	—	—	10
	大久保中（自閉・情緒）	5	5	7	—	—	—	17
	河原子中（自閉・情緒）	2	4	3	—	—	—	9
	泉丘中（自閉・情緒）	8	4	5	—	—	—	17
	台原中（自閉・情緒）	2	—	2	—	—	—	4
	日高中（自閉・情緒）	6	6	4	—	—	—	16
	豊浦中（自閉・情緒）	3	3	1	—	—	—	7
	久慈中（自閉・情緒）	2	3	5	—	—	—	10
	坂本中（自閉・情緒）	1	1	1	—	—	—	3
十王中（自閉・情緒）	6	3	3	—	—	—	12	
小 計	51	41	46	—	—	—	138	
合 計	90	88	98	70	77	54	477	

(2) 日立特別支援学校児童生徒数（学年別、症状別）

（単位：人）

部	学年	在籍数	療育手帳					視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	(車椅子利用)	病虚弱	自閉症	ダウン症	てんかん
			㊤	A	B	C	なし								
小学部	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	2	6	2	0	2	2	0	0	0	1	1	0	1	0	0
	3	12	1	3	2	2	4	1	1	5	5	0	4	1	0
	4	5	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	5	0	0
	5	10	0	3	2	2	3	0	1	1	1	1	3	1	2
	6	12	3	2	4	3	0	0	0	1	1	1	4	1	2
	小計	46	7	8	12	12	7	1	2	8	8	2	18	3	4
中学部	1	18	1	2	3	9	3	0	0	1	0	1	13	0	3
	2	8	1	0	3	3	1	0	0	0	0	1	8	0	1
	3	13	2	1	2	5	3	0	0	1	1	1	8	0	3
	小計	39	4	3	8	17	7	0	0	2	1	3	29	0	7
高等部	1	16	2	3	4	7	0	0	0	1	1	2	9	1	1
	2	17	1	4	4	8	0	0	0	0	0	1	10	1	3
	3	26	2	4	5	14	1	0	2	2	2	0	10	2	0
	小計	59	5	11	13	29	1	0	2	3	3	3	29	4	4
合計		144	16	22	33	58	15	1	4	13	12	8	76	7	15

(3) 日立市教育支援委員会

ア 障害児の障害に応じた適正な就学指導の円滑な運営を図るため、教育委員会の諮問に応じ、次の事項について審査する。

(ア) 学齢期にある知的障害者、自閉症・情緒障害者、視覚障害者、聴覚障害者、言語障害者、肢体不自由者、病弱者及び重複障害者の判定

(イ) 学齢期にある就学猶予者及び小学校入学予定者のうち障害の疑いのある者の就学前の諸検査及びそれらの就学適否の判定

(ウ) 幼稚園入園予定者のうち障害の疑いのある者の就園前の諸検査及び適切指導

(エ) その他、適正な就学指導のため必要と認める事項

イ 令和3年度教育支援委員会審議対象者の就学状況（P28参照）

ウ 委員構成（P73参照）

令和3年度教育支援委員会審議対象者の就学状況

区分 校名	小学校 通常の学級 (要観察者を含む)		小学校 特別支援学級 (知的障害)		小学校 特別支援学級 (自閉症・情緒障害)		中学校 通常の学級 (要観察者を含む)		中学校 特別支援学級 (知的障害)		中学校 特別支援学級 (自閉症・情緒障害)		特別支援学級 (言語障害) (小学校のみ)		日立特別 支援学校 (重複簿を含む)		水戸特別 支援学校		常陸・北茨城 特別支援学校		盲聾学級 判定		市内 転出 等 実際		R4年度 特別支援学級 (知的障害) 児童生徒数	
	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際		
助川小	9		6	6	2	2									1	1									14	
会瀬小	8	1	2	2	1	4									1	1									5	
宮田小	7	1	2	4	1	1							1												10	
滑川小	6		3	3	3	3																			10	
仲町小	4	1	2		3	2																			—	
中小路小	1		1	1	1																				6	
大久保小	2				2	2																			10	
河原子小	6				6	6																			4	
成沢小	7		2	1	4	5																			8	
諏訪小	5	1	2	1	1	2	2						1												3	
水木小	2	1	1																						12	
大みか小	7		1	1	1	6	6																		5	
大沼小	6	1	4	3	1	2	1																		10	
金沢小	2		2	2	2	2																			5	
塙山小	5	1	2	2	2	1																			12	
油縄子小	5		1	1	3	2	1								2										5	
田尻小	12		9	9	9	3	3																		20	
日高小	6	1	1	2	2	3	3																		12	
豊浦小	7		3	3	3	4	4																		9	
久慈小	3	1	1	1	1	2	2																		5	
坂本小	6	3	3	1	1	2	2																		10	
栗小沢小																										
櫛形小	6		4	4	2	2																			17	
山部小																									4	
助川中	12						2	2	2	3	3	2			5	4								1	6	
平沢中																										
駒王中	19						9	11	2	1	7	7			1										6	
滑川中	16						1	1	4	4	9	10			1	1									17	
多賀中	7						2	2	2	3	4	2			1										10	
大久保中	19						4	7	6	5	9	7													10	
河原子中	5														1	1									3	
泉丘中	20						4	7	7	3	8	8			1	1									11	
台原中	7						2	5	1	1	4	2													2	
日高中	9														1										8	
豊浦中	6						2	1	1	4	2	3	3												2	
久慈中	8						1	4	2	3	4	1					1	1							5	
坂本中	1																									1
十王中	16						1	8	8	8	7														8	
中里中	1							1																		—
日立特別支援																										—
合計	268	11	21	45	43	58	54	22	40	40	33	70	62	2	—	15	9	1	—	1	1	—	—	—	285	

※ 校名の太字は特別支援学級（知的障害）設置校

7 幼稚園

(1) 園児数及び就園率

区分	年度	令和30		令和元		2		3		4	
	年齢別	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児
	幼児数(人)	1,196	1,214	1,167	1,189	1,097	1,161	1,029	1,088	951	1,030
公立	園数(園)	13 (1)		12 (1)		9 (2)		5 (2)		5 (2)	
	園児数(人)	114 (9.5)	162 (13.3)	96 (8.2)	118 (9.9)	59 (5.4)	94 (8.1)	41 (4.0)	61 (5.6)	43 (4.5)	47 (4.6)
私立	園数(園)	21 (12)		21 (12)		20 (12)		20 (12)		20 (12)	
	園児数(人)	527 (44.1)	552 (45.5)	516 (44.2)	514 (43.2)	461 (42.0)	480 (41.3)	402 (39.1)	445 (40.9)	333 (35.0)	384 (37.3)

- ※ 1 幼児数は、各年度4月1日現在の日立市内住民登録者数
 2 園数欄の（ ）内は、認定こども園の数（内数）。なお、園数には休園中の園は含まない。
 3 園児数は、市外からの通園児を含まない。
 4 園児数欄の（ ）内は、幼児数に対する就園児数の割合（単位：％）

(2) 預かり保育

公立（※）・私立幼稚園及び認定こども園全園で実施している（休園中の園を除く）。

※平成22年10月から大沼幼稚園と田尻幼稚園、平成27年4月からみやた認定こども園、令和2年4月からはなやま認定こども園、令和3年5月から橿形幼稚園で実施。（令和3年度の延べ利用人数 大沼幼稚園37人、田尻幼稚園408人、橿形幼稚園147人、みやた認定こども園187人、はなやま認定こども園77人）

8 保護者負担軽減対策

(1) ランドセル及びスクールカバン予算措置

保護者の経済的負担軽減及び入学祝いとして、新入学児童に対して薄型で軽いファスナー式ランドセルを贈呈するため、昭和50年度から予算措置している。

また、新たに令和2年度新入学生徒に対して大容量で丈夫なスクールカバンを贈呈するため、令和元年度から予算措置している。

予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区分	年度	平成30	令和元	2	3	4
ランドセル		11,687	11,301	11,753	11,742	10,348
スクールカバン		—	14,850	12,870	13,662	9,769

(2) 学校給食費助成予算措置

児童生徒の学校給食費を一人当たり月額500円助成することで保護者の負担を軽減するため、平成30年度から予算措置している。（令和2年度と3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、子育て世帯の支援策として実施した給食費の全額助成を含む。）

予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区分	年度	令和元	2	3	4
学校給食費助成		68,893	209,983 (全額助成分：142,498)	65,135 (全額助成分：5,194)	63,037

(3) 氏名ゴム印予算措置

私費負担となっていた新入学児童生徒用氏名ゴム印を、昭和53年度から予算措置している。

予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区分	年度	平成30	令和元	2	3	4
氏名ゴム印		292	266	253	247	246

(4) 部活動関係予算措置

部活動は自主的参加であるので、原則として私費負担としながら、スポーツ・文化活動を通じて心身ともに健全な青少年を育成する見地から、より活発な活動及び積極的な参加を促進するため、関係費用の一部を予算措置している。

予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区 分	年 度	平成30	令和元	2	3	4
部活用ユニホーム・ボール類		3,630	3,703	3,698	3,698	3,795
吹奏楽部用楽器		3,775	3,775	3,775	3,775	3,775
各種大会参加補助		14,173	14,173	14,173	14,173	14,173

(5) 自転車通学生徒用ヘルメット購入費予算措置

遠距離通学等の理由により、自転車通学が認められた生徒のヘルメット購入費を援助することにより、登下校の交通安全対策と保護者の負担を軽減するため予算措置している。

（対象校）豊浦中学校、久慈中学校、坂本中学校、中里中学校、十王中学校

予 算 措 置 状 況

（単位：千円）

区 分	年 度	平成30	令和元	2	3	4
ヘルメット購入費補助		87	87	87	86	86

9 学校施設整備状況

今日の学校施設は、児童・生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、地震等災害時における避難所としての役割、学校施設開放やコミュニティ活動等の地域住民の活動拠点としての役割など多様な機能が求められている。

本市の学校は、昭和50年前後に建設された施設が全体の6割を占め、耐震性に課題があった。そのため、校舎については、平成24年度から耐震補強を実施し、また、避難所となる屋内運動場については、平成22年度から大規模改造及び耐震補強を実施した。さらに、耐震性の課題に加えて、老朽化が著しい校舎・屋内運動場については、改築により耐震化を図ったことにより、現在の耐震化率は約99%となっている。

耐震補強のみを実施した校舎の老朽化対策については、トイレの改修や普通教室等への情報通信ネットワーク環境整備など施設の環境改善を実施することにより当面の課題に対処しつつ、校舎の長寿命化や健全な学習・生活環境の改善を図るため大規模改造に取り組んでいる。

主要事業状況

(令和4年4月現在)

年 度	事 業 内 容
平成 30	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	豊浦小学校校舎改築事業
	日高小学校校舎改築事業
	トイレ改修事業（仲町小、大みか小、中里小、櫛形小、豊浦中、十王中）
令和 元	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	豊浦小学校校舎改築事業
	日高小学校校舎改築事業
	中里中学校校舎改築事業
	十王中学校屋内運動場改築事業
	トイレ改修事業（河原子小、金沢小、駒王中）
	普通教室等空調設備設置事業（小学校19校、中学校12校）
	屋内運動場トイレ整備事業（滑川小、会瀬小、坂本小、成沢小、大久保小、河原子小、多賀中）
2	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	豊浦小学校校舎改築事業
	日高小学校校舎改築事業
	中里中学校校舎改築事業
	十王中学校屋内運動場改築事業
	トイレ改修事業（滑川小、成沢小）
	屋内運動場トイレ整備事業（豊浦小、田尻小、仲町小、中小路小、宮田小、金沢小、大みか小、滑川中、台原中）
	情報通信ネットワーク環境整備事業（小学校22校、中学校14校）
3	日高小学校校舎改築事業
	中里中学校校舎改築事業
	十王中学校屋内運動場改築事業
	トイレ改修事業（大久保小、泉丘中、河原子中）
	屋内運動場トイレ整備事業（油縄子小、塙山小、水木小、大沼小、諏訪小、日高小、中里中）
4	中里中学校校舎改築事業
	十王中学校屋内運動場改築事業
	トイレ改修事業（滑川中、多賀中）
	屋内運動場トイレ整備事業（助川小、成沢小、大久保中、泉丘中）

10 教材教具整備状況

(1) 教材整備及び図書整備

教材整備については、授業の形態や指導方法も多様化していることから、引き続き教材教具の整備充実を計画的に進めていく。

特に学校図書については、子どもの読書活動推進法の成立や確かな学力育成事業の実施等により学校図書館の重要性が高まっていることから、教科書改訂を踏まえ、新たに授業で使う図書の整備を図る。

(2) 教育用コンピュータ等の整備

情報技術の急速な発達により、社会の様々な分野で情報化が進んでいる。また、令和2年度からの新学習指導要領では、小学校においてプログラミング教育を必修化するなど、情報活用能力を言語能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けている。

令和4年度は、令和2年度に文部科学省の「GIGAスクール構想」を踏まえて整備した、児童生徒1人1台のコンピュータ及び高速な情報通信ネットワーク並びにプロジェクター・電子黒板等について、引き続き、環境の維持向上を図りながら、わかりやすい授業づくりを支援するとともに「情報活用能力」及び「自ら学び、考え、行動する力」の育成を図る。

学校におけるコンピュータ等の整備状況

(令和4年4月1日現在)

	小学校25校	中学校15校	特別支援学校1校	計
台数(台)	8,384	4,657	233	13,274

※ 教職員及び児童生徒1人1台（予備等含む）

※ 全てのコンピュータから、インターネットを安全に利用することができる。

11 保健と安全

(1) 学校保健

学校における園児及び児童生徒並びに教職員の定期健康診断や結核検診については、市医師会・歯科医師会及び公益財団法人日立メディカルセンター、株式会社日立製作所日立総合病院等との連携により実施している。特に、小学1年生・中学1年生及び特別支援学校の全児童生徒については、定期健康診断とともに、心疾患の早期発見のため、心臓検診を公益財団法人日立メディカルセンターに委託し実施している。また、尿検査は、公益財団法人茨城県総合健診協会に依頼し実施している。

また、小・中学校における児童生徒の心の健康相談等に応ずるため、学校心療内科医を設置し、心の健康に問題を持つ児童生徒に対し、専門的立場から相談及び助言、指導を行っている。

教職員については、全員を対象に尿、貧血、肝機能、血中脂質、心電図検査、結核検診間接撮影等の一般健康診断を、40歳以上の者には胃部検診を実施している。

また、平成6年度からは、日立養護学校（平成24年4月1日から日立特別支援学校に改称）教職員、平成7年度からは、小・中学校養護教諭も対象に加えて、B型肝炎予防接種を実施している。

学校環境衛生については、市学校薬剤師会の協力の下に、飲料水水質検査、プール水質検査、教室照度検査、空気検査等の検査・測定を行うとともに、不快害虫の生息調査、駆除を行い、児童生徒がより良い環境で学習できるよう努めている。

また、児童生徒個々の身体測定の結果、スポーツテスト等の記録を電算処理し、各人毎の健康度（体格・体力・運動能力等）を判定し、これらを健康管理、健康指導教育の資料として活用する健康度判定事業委託を実施している。

学校医・歯科医・薬剤師

令和4年4月1日現在（単位：人）

	学 校 医	管 理 医	歯 科 医	特別支援学級医	心療内科医	薬 剤 師
幼 稚 園	3	3	3	0	0	3
小 学 校	39	24	33	2	4	21
中 学 校	23	14	19			13
義務教育学校	1	1	1			1
特別支援学校	4	1	2	0	0	1
計	70	43	58	2	4	39

※ 管理医は学校医の内数

主な疾病異常の状況（児童・生徒疾病別被患率比較）

（単位：％）

年度	区 分		う 歯		視 力 (1.0未満)	口腔咽喉 頭疾患 ・異常	結膜炎 他の眼病 含む	心臓疾患	ぜんそく	四肢・ せき柱・ 胸郭異常
			処 置 完了者	未 処 置 者						
平成 29	小学校	日立市	23.9	23.4	33.4	1.1	26.8	1.6	6.6	1.1
		全 国	24.7	24.2	31.5	1.4	5.4	0.7	3.7	1.8
	中学校	日立市	16.5	18.5	54.5	0.4	30.6	1.7	5.1	1.4
		全 国	21.0	16.5	54.6	0.7	5.1	0.8	2.9	3.4
30	小学校	日立市	22.2	22.2	35.0	2.2	27.0	1.6	6.9	0.9
		全 国	23.1	22.2	34.1	1.3	5.7	0.8	3.5	1.1
	中学校	日立市	20.3	16.6	54.4	0.3	32.1	1.4	4.4	1.6
		全 国	20.4	15.0	56.0	0.8	4.9	1.0	2.7	2.4
令和 元	小学校	日立市	22.4	21.8	36.7	2.0	30.9	1.8	7.0	0.4
		全 国	23.1	21.7	34.6	1.3	5.6	0.9	3.4	1.1
	中学校	日立市	20.7	15.9	59.3	0.3	41.2	1.5	6.8	0.5
		全 国	19.8	14.2	57.5	0.7	5.4	1.0	2.6	2.1
2	小学校	日立市	19.1	17.5	39.7	1.2	33.3	1.4	7.0	0.7
		全 国	20.6	19.6	37.5	1.0	4.8	0.8	3.3	0.9
	中学校	日立市	21.0	15.9	57.8	0.2	36.8	1.9	6.5	0.8
		全 国	18.8	13.4	58.3	0.5	4.7	1.0	2.6	1.7
3	小学校	日立市	20.4	18.1	40.4	0.6	38.0	1.4	7.4	0.4
		全 国	19.9	17.7	39.8	0.8	4.8	0.8	2.7	0.8
	中学校	日立市	24.5	12.9	61.7	0.1	46.3	1.7	6.7	0.8
		全 国	19.2	12.6	64.7	0.5	4.4	1.0	1.8	1.9

(2) 学校安全

災害発生の状況は、小学校では休憩時間での骨折、打撲が多く、また中学校においては、部活動での骨折、打撲が多くみられる。小・中学校共通して、体育時のけがも多くみられる。

このような状況を踏まえ、今後の対策としては、各学校へ各種資料等を提供し、学校安全推進のための啓もうを図るとともに、児童生徒の日頃の心身状態を把握し、登下校を含め教育活動全体を通して安全についての指導徹底を図っていきたい。

災害発生件数

（単位：件）

年 度	小 学 校	中 学 校	計
平成29年度	470	451	921
平成30年度	432	637	1,069
令和元年度	419	450	869
2	365	296	661
3	358	346	704

月別災害発生件数

(単位：件)

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	年度												
小学校	平成29	40	20	41	43	32	16	24	58	58	57	65	50
	30	24	57	46	26	1	65	55	47	42	41	35	31
	令和元	26	40	51	19	0	41	66	57	36	25	37	34
	2	8	1	29	40	16	40	76	51	48	25	31	0
	3	33	33	47	14	0	3	53	40	42	23	36	34
中学校	平成29	50	33	67	45	63	46	68	73	52	44	52	56
	30	40	29	44	48	67	13	62	58	51	34	32	43
	令和元	37	63	48	34	18	62	41	19	27	30	43	29
	2	1	3	37	36	34	52	30	33	31	18	21	0
	3	35	50	41	35	8	2	43	40	33	18	13	28

傷害別災害発生件数

(単位：件)

	傷害	骨折	ねんざ	切・挫創	打撲	眼・角膜	歯冠	その他
	年度							
小学校	平成29	88	84	26	192	69	26	75
	30	94	54	22	196	55	21	66
	令和元	90	61	21	175	36	20	72
	2	80	47	25	163	52	9	50
	3	78	66	19	138	55	16	57
中学校	平成29	129	94	10	139	34	8	76
	30	128	117	15	169	42	6	208
	令和元	122	96	9	142	57	4	81
	2	79	62	9	96	25	3	50
	3	83	79	3	128	37	2	53

12 学校給食

(1) 学校給食共同調理場の概要

ア 名称及び所在地

日立市北部学校給食共同調理場	日立市砂沢町758番地27
日立市南高野学校給食共同調理場	日立市南高野町1丁目23番11号

イ 敷地及び建物面積、その他

区 分	敷地面積	建物面積	開設年月日
北 部	15,791㎡	3,161㎡	平成31年4月1日
南 高 野	7,083㎡	3,638㎡	平成19年8月1日

ウ 主要設備、備品

(単位：台)

品 名	数 量		品 名	数 量	
	北 部	南高野		北 部	南高野
蒸 気 回 転 釜	20	20	食 器 洗 淨 機	3	2
蒸 気 自 動 回 転 釜	0	4	食 缶 洗 淨 機	1	1
ガ ス 回 転 釜	1	0	エ ア ー シ ャ フ ー	4	4
調 理 台	47	23	生 鮮 食 品 用 冷 蔵 庫	8	5
上 流 し	34	25	大 型 冷 凍 庫	2	2
作 業 台	31	27	保 存 食 用 冷 凍 庫	1	2
自 動 浸 漬 槽	0	1	揚 物 機	1	1
超 音 波 洗 淨 機	1	3	球 根 皮 剥 機	3	3
パ ン ラ ッ ク	30	30	サイ ノ 目 切 機	2	2
コ ン テ ナ	52	61	自 動 連 続 切 裁 機	3	1
食 器 消 毒 保 管 庫	10	2	フ ー ド ミ キ サ ー	3	3
厨 芥 処 理 機	1	1	ボ イ ラ ー	2	3
コ ン テ ナ 洗 淨 機	1	1	殺 菌 庫	26	17
蒸 気 む し 庫	0	2	コンベクションオープン	6	1

エ 給食対象人員

(令和4年5月1日現在) (単位：人)

校別 区分	小 学 校			中 学 校			調理場 関係数	計
	学校数	児童数	教職員数	学校数	生徒数	教職員数		
北 部	12	3,575	355	9	2,199	239	47	6,415
南 高 野	14	3,475	433	8	1,961	257	40	6,166
計	26	7,050	788	17	4,160	496	87	12,581

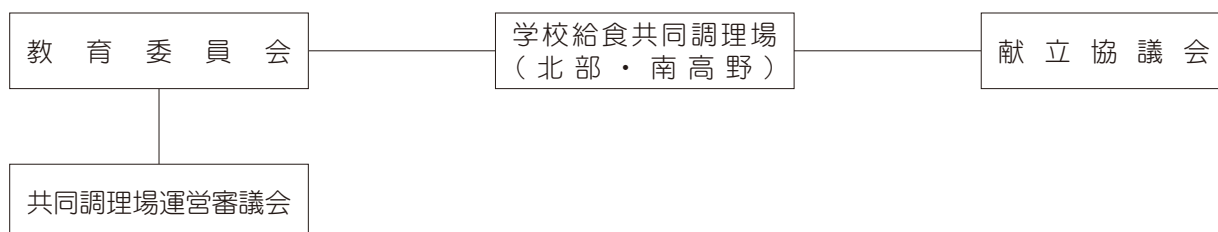
※ 県立日立第一高等学校附属中学校分（生徒240人、教職員等21人）は北部調理場を含む。

※ 中里小中学校（義務教育学校）1～6年生（児童26人、教職員等10人）は北部調理場の小学校分、7～9年生（生徒26人、教職員等13人）は北部調理場の中学校分を含む。

※ 特別支援学校小学部（児童41人、教職員等46人）は南高野調理場の小学校分、特別支援学校中・高等部（生徒94人、教職員等44人）は南高野調理場の中学校分を含む。

(2) 運営管理

(機構)



ア 共同調理場運営審議会

共同調理場の運営管理については、職員及び施設、設備、栄養、衛生、給食物資及び給食費等、極めて多面的であり、かつ複雑であることから、学校長、保護者代表、市議、学校医及び学校薬剤師等で組織する運営審議会を諮問機関として設け、共同調理場の運営に関する事項について諮問する。

(ア) 主な諮問事項

学校給食の計画に関する事項、学校給食費に関する事項、その他学校給食の運営上重要な事項

(イ) 運営審議会委員（P76参照）

イ 献立協議会

学校の給食主任と調理場栄養士で構成し、献立の内容検討や課題の整理、給食提供に係る諸事項について協議を行うとともに、情報を共有する場とする。

13 通学用スクールバス

行政改革を推進するため、恒常的な運行形態である「中里スクールバス及び日立特別支援学校スクールバスの運行管理業務」を平成11年4月から民間に委託し、経費削減及び事業の効率化を図っている。

(1) 中里小中学校スクールバス

教育の機会均等の趣旨に基づき、学校統合に伴い遠距離通学となる児童生徒に対して、昭和42年9月から通学送迎用としてスクールバスを運行している。

さらに、昭和56年9月から、児童生徒の登下校に支障のない範囲で、次の場合に運行している。

- 小・中学校児童生徒の競技会等選手を派遣する場合の送迎
- その他教育長が認めた場合

なお、平成25年4月1日から小規模特認校制度による遠距離通学者の利用を可能としている。

ア 利用者数（中里小中学校学区内児童生徒及び小規模特認校制度による児童生徒）

区分	年度	平成30	平令和元	2	3	4
小 学 校		11	13	15	15	15
中 学 校		12	14	10	8	17

イ 利用形態

中里小中学校の児童生徒の通学送迎用として、スクールバス1台が日立駅⇄中里小中学校間を運行している。なお、運行にあたり、運転員1人、添乗員1人が配置されている。

(2) 日立特別支援学校スクールバス

昭和43年の開校以来、小学部3年生までは保護者付添いによる通学、小学部4年生以上から自力通学を原則として地域社会との接触を図ることを教育方針としてきたが、近年、自力通学困難な重度障害児童生徒が増加傾向にあり、保護者の付添通学が増加したため、保護者負担の軽減を図るために昭和60年12月から通学送迎用として運行している。平成26年度に更新した市所有の3台に加え、平成29年度から事業者所有のバスを1台増便し、現在、4台のスクールバスを運行している。

ア 利用者数（日立市内から通学する児童生徒のうち、保護者付添通学を必要とする者）

コース	年度	平成30	平令和元	2	3	4
北部方面コース		25	22	23	21	21
南部方面コース		26	20	18	11	12
中央コース(北部)		29	29	30	26	27
中央コース(南部)		23	13	14	12	23
計		103	84	85	70	83

イ 利用形態

日立特別支援学校児童生徒の通学送迎用として、スクールバス4台が市内の各方面を運行している。なお、運行にあたり、運転員4人、介助員8人（バス1台に2人乗車）が配置されている。

14 放課後児童対策

〔総合的な放課後児童対策の推進〕

共働き家庭などの「小1の壁」・「待機児童」の解消を図るとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後などを安全・安心に過ごし、様々な体験や学習などを行うことができるよう、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の2つの事業の特性を生かしつつ、連携して実施する。

(1) 放課後児童健全育成事業

放課後や学校休業日に、保護者が就労などにより家庭にいない児童に適切な遊び及び生活の場を提供し、利用児童の健全育成及び子育て支援の充実を図る。

ア 公設児童クラブ

市が、市立小学校内に開設する児童クラブで、運営は、各児童クラブの運営協議会に委託している。

(ア) 開設場所 各小学校の余暇教室等

(イ) 開設日時

a 平日 下校時～午後6時（延長：午後7時まで）

b 土曜日、長期休業期間、学校振替休業日等

午前8時～午後6時（延長：午前7時30分から、午後7時まで）

(ウ) 受入対象学年 全学年

(エ) 開設状況

a 開設校 24校（38単位）

b 登録者数 1,235人

c 内訳（令和4年5月1日現在）

（単位：人）

学校名	単位数	登録者数
助川	2	74
会瀬	2	46
宮田	2	73
滑川	1	39
仲町	1	15
中小路	1	10
大久保	2	70
河原子	1	48
成沢	1	42
諏訪	2	58
水木	2	64
大みか	1	32
大沼	3	119

学校名	単位数	登録者数
金沢	1	39
埴山	1	37
油縄子	2	53
田尻	1	44
日高	2	98
豊浦	2	68
久慈	2	58
坂本	2	67
東小沢	0	0
中里	0	0
櫛形	2	68
山部	1	8
特別支援学校	1	5

(オ) 実績（令和3年度）

a 開設校 24校（35単位）

b 登録者数 1,008人（令和4年3月1日現在）

イ 民間児童クラブ

市内で児童クラブを実施している民間事業者に対し、運営費を補助する。

(ア) 開設状況

- a 補助金交付クラブ数 10か所（10単位）
- b 登録者数 335人
- c 内訳（令和4年5月1日現在）

（単位：人）

クラブ名	所在地 (学区)	単位数	登録 者数	実施主体
おおぞら学童クラブ	若葉町 (中小路小)	1	34	保護者会
風の子学童クラブ	鮎川町 (成沢小)	1	16	保護者会
ひかり学童クラブ	末広町 (大久保小)	1	20	保護者会
埴山こどもわくわく広場	金沢町 (埴山小)	1	30	埴山学区 住みよいまちをつくる会
城の丘じゅうおうランド	十王町城の丘 (櫛形小)	1	44	NPO法人 城の丘豊生会
南高野保育園 レインボーキッズ学童クラブ	茂宮町 (坂本小)	1	42	南高野保育園
滑川聖徳保育園学童クラブ	滑川本町 (滑川小)	1	20	滑川聖徳保育園
こどものいえ学童クラブ	日高町 (日高小)	1	35	こどものいえ認定こども園
豊浦さくら学童クラブ	折笠町 (豊浦小)	1	43	豊浦さくら保育園
いしまち学童クラブ	十王町伊師 (櫛形小)	1	51	いしまち認定こども園

(イ) 実績（令和3年度）

- a 補助金交付クラブ数 10か所（10単位）
- b 登録者数 331人（令和4年3月1日現在）

(2) 放課後子ども教室事業

共働き家庭等を含めた全ての子どもを対象として、学校施設や公共施設等の安全・安心な活動場所を活用し、地域住民や大学生等の様々な人材の協力を得て、学習支援や多様な体験プログラム、交流活動を実施する。

ア 開設場所 各小学校の余暇教室等

イ 開設日時 平日 下校時～午後5時30分

（長期休業期間は午前・午後の半日程度。原則、土・日曜日は実施しない。）

ウ 対象学年 全学年

エ 定員 30人程度

オ 開設状況

（ア）開設校 19校

（イ）登録者数 384人

（ウ）内訳（令和4年6月1日現在）

（単位：回）

教室	実施場所	開設曜日	登録者数	委託先
助川	小学校図工室	水・金曜日	26	㈱アンフィニ
会瀬	小学校地域交流室	月・水曜日	10	
宮田	小学校専用教室	月・木曜日	30	
滑川	小学校学習室	月・木曜日	30	
仲町	小学校多目的室	月・木曜日	14	
中小路	旧中小路幼稚園遊戯室	火・金曜日	20	
成沢	小学校生活科室	水・金曜日	16	
田尻	小学校専用教室	火・金曜日	24	
日高	小学校ホール	火・木曜日	30	
豊浦	小学校PTA室	火・水曜日	30	
大久保	多賀図書館	火・水曜日	17	
河原子	ランチルーム	月・火曜日	9	
諏訪	小学校多目的室	火・金曜日	12	
水木	小学校地域交流室	木・金曜日	19	
大沼	小学校図工室	火・金曜日	25	
金沢	小学校学習室	月・水曜日	18	
埴山	小学校図工室	水・木曜日	13	
久慈	小学校会議室	火・水曜日	19	
坂本	小学校会議室	木・金曜日	22	

※令和4年度新規開設校 6校（宮田、仲町、中小路、成沢、河原子、金沢）

カ 実績（令和3年度）

（ア）開設校 13校

（イ）登録者数 351人（令和4年1月31日現在）

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1月31日で令和3年度の活動を終了した。

15 スクールロイヤー

いじめや不登校への対応、保護者からの過大な要求やクレーム対応など、学校現場では様々な問題が日々発生している。そうした問題の解決や重篤化防止のため、学校が弁護士から法律や法的価値観に基づく助言を得られる体制を整え、「学校支援体制の強化」と「学校の危機管理能力の向上」、「教員の負担軽減」を図る。

スクールロイヤー相談回数の推移

（単位：回）

年度	令和元	2	3
相談回数	24	15	11

16 奨学金制度

(1) 奨学金貸付事業

日立市奨学金は、教育の機会均等を図り、有能な人材を育成するため、能力があるにもかかわらず経済的な理由によって就学が困難な高校生に対し学資を貸し付けることを目的に、昭和40年に設置された。その後、対象を大学生等にも広げ、市独自に入学準備金制度を設けたほか、貸付額の引き上げを行ってきた。

奨学金は、昭和54年度から基金制度による運用となり、令和3年度末の基金額は5億7,315万4千円（目標額5億7,500万円）となっている。

ア 貸付人員

高等学校奨学生（高等専門学校及び専修学校の高等課程を含む） 20人以内

大学奨学生（短期大学及び専修学校の専門課程を含む） 120人以内

イ 貸付額

（単位：円）

区		分	修学資金(月額)	入学準備金(一時金)	
高等学校・ 高等専門学校	国立及び公立	自宅通学のとき	13,000	100,000円以内で教育委員会が必要と認める額	
		自宅外通学のとき	18,000		
	私立	自宅通学のとき	25,000		
		自宅外通学のとき	30,000		
大 学	国立及び公立 短期大学を含む)	自宅通学のとき	35,000	250,000円以内で教育委員会が必要と認める額	
		自宅外通学のとき	41,000		
	私立	短 期 大 学	自宅通学のとき		44,000
			自宅外通学のとき		54,000
		短 期 大 学	自宅通学のとき		43,000
			自宅外通学のとき		50,000
専 修 学 校	高等課程	国立及び公立	自宅通学のとき	13,000	100,000円以内で教育委員会が必要と認める額
			自宅外通学のとき	18,000	
		私 立	自宅通学のとき	25,000	
			自宅外通学のとき	30,000	
	専門課程	国立及び公立	自宅通学のとき	35,000	200,000円以内で教育委員会が必要と認める額
			自宅外通学のとき	41,000	
		私 立	自宅通学のとき	43,000	
			自宅外通学のとき	50,000	

ウ 年度別貸付状況

（単位：人・千円）

年度	区分	高等学校		大 学		計	
		人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
平成28		2	342	60	36,530	62	36,872
29		3	498	62	36,392	65	36,890
30		3	468	66	39,074	69	39,542
令和元		1	156	68	40,776	69	40,932
2		2	556	75	46,824	77	47,380
3		2	486	95	56,362	97	56,848
累 計		792	230,464	790	1,609,068	1,582	1,839,532

※ 人数の累計は、昭和40年（制度開始年）からの実人数

（令和4年3月31日現在）

エ 奨学金貸付基金運用状況

（単位：千円）

貸付金総額 (A)	償還金総額 (B)	未償還金総額 (C = A - B)	現金総額 (D)	基金額 (C + D)
1,839,532	1,535,568	303,964	269,190	573,154

（令和4年3月31日現在）

(2) 奨学金返還支援事業

若者の市内定住の促進や医療・介護・福祉職の人材確保を図るため、対象となる奨学金を利用して大学等を卒業後、市内に居住する等の要件を満たした者に対し、奨学金返還金の最大全額相当の補助金を交付する。

ア 対象となる奨学金

(ア) 日立市奨学金※1

(イ) 日本学生支援機構貸与奨学金（第一種）※2

(ウ) 茨城県奨学資金※2

※1 「日立市奨学生ふるさと定住促進補助」対象者：平成29年度以降返還開始者

「日立市奨学生医療・介護・福祉職就業支援補助」対象者：令和元年度以降返還開始者

※2 対象者：令和3年度以降返還開始者

イ 補助の種類

補助の名称	補助の要件	補助の内容
奨学生ふるさと定住促進補助	①日立市に居住（住民登録）する ②奨学金返還金及び市税の滞納がない ③奨学金の貸与開始が40歳未満	奨学金返還金の最大50%を補助
奨学生医療・介護・福祉職就業支援補助 (所管：地域医療対策課)	①奨学生ふるさと定住促進補助の支給要件を満たす ②医療・介護・福祉職の国家資格を活かし、市内事業所で働く	奨学金返還金の最大50%を補助

最大全額補助

ウ 補助実績（奨学生ふるさと定住促進補助）

区分 年度	補助人数（人）			奨学金種別			補助額 （円）
	新規	継続	合計	市奨学金	日本学生 支援機構	県奨学 資金	
平成29	5	—	5	5	—	—	458,400
30	6	5	11	11	—	—	1,113,700
令和元	9	11	20	20	—	—	1,895,500
2	6	19	25	25	—	—	2,620,700
3	52	22	74	32	41	1	4,020,100

(令和4年3月31日現在)

エ 補助実績（奨学生医療・介護・福祉職就業支援補助）

区分 年度	補助人数（人）			奨学金種別			補助額 （円）
	新規	継続	合計	市奨学金	日本学生 支援機構	県奨学 資金	
令和元	2	—	2	2	—	—	171,000
2	1	2	3	3	—	—	316,700
3	12	3	15	3	11	1	585,200

(令和4年3月31日現在)

IV 生涯学習

1 生涯学習の推進

(1) 基本方針

少子・高齢化、社会の成熟化などに伴い、さまざまな場面で学習需要が増大しているため、豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたって学習することができ、その成果を身近な地域で活かすことのできる生涯学習環境の構築に努める。

ア 市民の生涯学習への意欲を高めるとともに生涯学習活動への参加を促進し、地域の中で学びの成果を活かすことができるような環境醸成に努める。

イ 市民が主体となり、知恵を集めた「ひたち生き生き百年塾」運動を推進するとともに、コミュニティ等との情報交換・連携強化を図る。

ウ 「自分を高める学習」「地域の力を高める学習」を推進していくため、図書館や視聴覚センターなどの生涯学習施設の有効活用を図り、多様な学習の場の拡充に努める。

エ 多様化する市民ニーズに対応した生涯学習を進めるため、茨城大学、茨城キリスト教大学、県北生涯学習センターなどの生涯学習機関・団体及び企業と連携協力し、学習機会の拡充に努める。

オ 学校、家庭、地域が連携して、子どもたちの学習活動や体験活動への支援を進める。

カ 家庭教育力の向上を図るため、関係機関、学校などと連携し、主に小学生の保護者を対象に家庭教育の支援及び啓発活動を行う。

キ 社会教育の振興を図るため、社会教育関係団体の自主的、自発的活動を支援する。

ク 物の豊かさから心の豊かさへと価値観が変化し、優れた芸術・文化に触れる機会が一層求められる中で、芸術文化活動の一層の振興を図る。また、後世に伝えるための文化財、埋蔵文化財等の保護と保存に努める。

(2) 生涯学習の重点施策

〔ラジオ体操の普及〕

本市出身の遠山喜一郎氏が考案したラジオ体操を「郷土の宝」として、市民への普及に取り組むことで、市民の生活習慣の改善及び健康増進を図るとともに、世代間交流の機会を増やし、地域社会の活性化を目指す。

ア 「ひたち発 ラジオ体操 それ♪ 1 2! 3!!」の実施（令和3年度）

市民の生活習慣の改善と健康増進を図るため、ラジオ体操を20日取り組んだ方に対し啓発品を配布した。

(ア) 体操実施期間 7月21日（水）から8月31日（火）まで

(イ) 啓発品交換期間 8月23日（月）から9月22日（水）まで

(ウ) 参加者数 12,862人（男性5,544人・女性7,318人）

イ 指導員の派遣（令和3年度）

派遣回数	派遣人数	参加人数
6回	9人	366人

ウ 第1回日立市長杯ラジオ体操コンクールの開催（令和3年度）

1団体当たり5～20人以内の団体による、ラジオ体操第一の演技を競うコンクールを実施した。

(ア) 日 時 令和3年12月18日（土）午前9時から午後0時20分まで

(イ) 会 場 日立市池の川さくらアリーナ

(ウ) 応募数 56団体（1,010人） 小学生の部15団体(299人)、中学生の部7団体(151人)、高校生・大学生の部7団体(113人)、一般の部27団体(447人)

〔市民・企業・行政の協働による多種多様なニーズに応じた生涯学習の拡充〕

子どもたちの勤労観や職業観を育むため、地域、産業界、行政等が一体となって進めている「日立市職業探検少年団」の運営を支援する。

ア 本部会議 ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から書面表決とした。

議決日 令和3年5月25日

イ 各団の活動日数及び人数構成（令和3年度）

少年団名	活動日数 (日)	団員数		
		男子(人)	女子(人)	計(人)
ひたち農業探検少年団	9	8	9	17
ひたち林業探検少年団	7	11	9	20
ひたち水産業探検少年団	6	14	5	19
ひたちものづくり探検少年団	7	2	4	6
ひたちパソコン探検少年団	12	6	2	8
ひたち福祉・医療探検少年団	4	3	10	13
ひたち科学探検少年団	8	8	6	14
ひたち建築デザイン探検少年団	7	5	5	10
ひたち観光探検少年団	6	7	6	13
ひたちメディア探検少年団	7	3	4	7
ひたちあきんど探検少年団	7	3	18	21
計	80	70	78	148

〔子どもたちの豊かな体験活動の支援〕

子どもたちの郷土愛を育み、豊かな体験を得る機会を創出するため、小中学生に「ひたち大好きパスポート」を配布し、土曜日及び長期休業期間中の日曜日の公共施設の利用無料を行うとともに、地域での活動参加を促し、一定ポイントを達成した者に、「ひたち大好き博士」認定証と記念缶バッジを交付する。

ア 利用状況

(単位 人)

年度 区分	平成29年	30	令和元	2	3
小学生	4,591	3,699	2,143	1,531	3,726
中学生	5,641	3,713	2,034	1,652	1,977
計	10,232	7,412	4,177	3,183	5,703

イ ひたち大好き博士認定状況

(単位 人)

年度 区分	令和元	2	3
初級	142	166	207
中級	9	10	17
上級	0	2	3
名誉	0	0	0
計	151	178	227

〔市民主体の生涯学習の支援〕

ア 「まち全体を学び舎に」を目指し、市民が自主的に参加して、ひとづくり・まちづくりを実践している「ひたち生き生き百年塾」運動を総合的に推進する。

令和2年度実績

事業名	開催数（回）	開催日数（日）	参加人数（人）
市民向け講座	18（15）	29（23）	275（278）
地域人材育成講座	5	5	78
百年塾ミニフェスタ （百年塾フェスタ中止のため代替開催）	4	70	市内駅等での展示会のため、来場者数は不明

（ ）内は令和2年度

イ 交流センター等を拠点としてコミュニティ及び子ども会等が実施する学習活動、地域づくり活動を支援する。

（ア）コミュニティ連携講座開催数（令和3年度） 3回 参加者数 78人

（イ）子どもの活動支援事業実施数（令和3年度） 2回 参加者数 47人

〔新成人記念事業「2022年日立市成人祝」〕

満20歳を迎える市民（新成人）を祝うため、日立市及び関係機関・団体の出席による記念式典及び新成人としての責任や自覚を促す内容の様々なイベントや啓発活動を行う。

ア 実施日 令和4年1月9日（日）

イ 会場 日立市池の川さくらアリーナ

ウ 内容 式典、記念写真撮影

エ 参加人数 1,536人（1,603人）

オ 参加率 75.6%（76.0%） （ ）は令和元年度

〔生涯学習施設・機能の充実〕

生涯学習の拠点ともいえるべき図書館・郷土博物館・視聴覚センター等の関係施設は、地域住民に親しまれ、その期待に応えられる体制づくりが必要であるため、適切な施設の運営管理に努める。

〔社会教育関係団体等への支援〕

家庭及び地域の教育力の向上を図るため、日立市立小・中学校PTA連合会、日立市子ども会育成連合会等への支援を行う。

〔文化行政の推進と文化財の保護〕

ア 芸術文化活動の推進

（ア）市民が主体となる芸術・文化活動に対し、活動・発表の場や各種情報を提供するなどの支援を行う。

（イ）市民ギャラリーを広く市民に開放するとともに、展示会等に利用してもらうように努める。

イ 文化財の保護と活用

（ア）文化財は、国民共有の貴重な財産であり、良好な状態で保存するとともに、その活用を図る。

（イ）郷土民俗芸能（風流物、ささら）の伝承活動・公開を支援し、後継者の養成を図る。

（ウ）埋蔵文化財の保護・保存を図るため、埋蔵文化財分布地図を効果的に活用するとともに、埋蔵文化財の公開展示に努める。

（エ）文化財愛護協会や関係機関団体と連携し、文化財の保護・啓発活動に努める。

（オ）文化財に対する理解や認識を深めるため、説明板等の整備を行う。

1 図書館

(1) 施設概要

名 称	所在地（電話）	敷地面積 m ²	建物延面積 m ²	主 な 設 備 等	職 員 数 人
記念図書館	幸町1-21-1 (24)7714 IP 050(5528)4946	7,582	3,384	貸出室兼閲覧室 1 参考図書閲覧室 1 書 庫 1 おはなしのへや 1	21 (うち再任用1、 会計年度任用職員 (図書館員 8、 図書搬送員 1) 9)
多賀図書館	末広町1-1-4 (33)2655 IP 050(8012)6952	1,716	3,455	貸出室兼閲覧室 2 (うち子ども図書室 1) 参考図書閲覧室 1 調べ学習室 1 書 庫 1 おはなし広場 1	19 (うち再任用1、 会計年度任用職員 (図書館員 11、 子ども読書活動推進 アドバイザー 1 勤務員 1) 13)
十王図書館	十王町友部202-1 (20)2345 IP 050(5528)4921	3,356	1,127	貸出室兼閲覧室 1 多目的スペース 1 書 庫 1 おはなしのへや 1	13 (うち会計年度任用 職員(図書館員) 9)
南部図書館	久慈町3-24-1 (29)1125 IP 050(5528)4950	4,649	1,398	貸出室兼閲覧室 1 (うち子ども図書室 1) 書庫 1 おはなしのへや 1 まなびの部屋 1 創作室 1 ギャラリー 1	14 (うち会計年度任用 職員 (図書館員) 10)

(2) 基本方針

多様化する市民のニーズに応えられるよう必要な資料・情報を収集整備し、生涯学習・生活・文化の向上を支援する地域の文化拠点として、広く市民にサービスを提供する。

ア 蔵書、郷土資料、その他の資料の充実

- 生活関連図書の整備等、幅広い分野の資料の整備
- 児童（乳幼児、小・中学生向け）資料の整備
- 国際理解に関する資料、視聴覚資料等の収集整備
- 市民推薦図書の募集（「あったらいいなこんな本」）
- 調査・研究に対応する参考図書、日立市や茨城県に関わる企業・郷土人関連・行政資料の収集整備
- 茨城大学との連携協力による専門的図書資料の提供
- 幅広い分野の電子書籍の整備

イ 奉仕活動の充実

(ア) 館内サービスの充実

- レファレンスサービス、リクエストサービス、フロアワークの充実
- 本の企画展示
- 貸出利用対象者の拡大（誰でも本が借りられる図書館の推進）

(イ) 館外サービスの充実

- 移動図書館を活用した子ども読書活動推進及び生涯学習等支援
- 交流センター等（日高・水木・大沼交流センター、南部支所）図書室及び施設文庫等の充実

(ウ) 子どもの読書環境の整備と学習活動への支援

- 子ども読書活動推進センターの機能充実
- ブックスタート及びブックトークの推進

- 学校支援（授業用図書館資料・巡回図書搬送等）の充実
- 子育て支援の推進（乳幼児・児童を対象としたおはなし会の開催・子育て支援コーナーの整備等）
- (エ) 読書グループの育成等、市民の自主活動の推進
 - 読書活動支援と団体配本などサポート体制の充実
 - 地域ボランティア活動の支援、図書館ボランティアの養成
- (オ) 広報活動の充実
 - 図書館ホームページの充実、図書館だよりの発行
 - J W A Y（日立市行政チャンネル）、S N S、F M ひとたちの活用等

(3) 令和4年度図書等購入計画

ア 図書

上段：金額（単位：千円） 下段（ ）内：冊数（単位：冊）

種別	記念図書館			多賀図書館	十王図書館	南部図書館	合計
	館内奉仕用	館外奉仕用					
		移動図書館	交流センター等				
参考図書	1,184 (148)	—	—	192 (24)	200 (25)	240 (30)	1,816 (227)
一般図書	6,298 (3,499)	1,253 (696)	1,611 (895)	3,366 (1,870)	3,291 (1,828)	4,046 (2,248)	19,865 (11,036)
児童図書	2,744 (1,564)	1,761 (1,006)	1,649 (920)	2,597 (1,485)	2,341 (1,367)	2,505 (1,429)	13,597 (7,771)
文庫	369 (410)	81 (90)	—	270 (300)	158 (175)	54 (61)	932 (1,036)
学校支援	474 (237)	—	1,660 (830)	240 (140)	—	—	2,374 (1,207)
合計	11,069 (5,858)	3,095 (1,792)	4,920 (2,645)	6,665 (3,819)	5,990 (3,395)	6,845 (3,768)	38,584 (21,277)

イ 電子書籍 2,706千円（750冊）

(4) 蔵書冊数

（令和4年3月31日現在）

種別	館内	記念図書館					多賀図書館	十王図書館	南部図書館	合計
		館外								
		移動	日高	水木	大沼	南部支所				
一般図書	231,931	51,231	3,771	4,399	3,132	2,420	75,717	68,075	68,121	508,797
児童図書	70,040	64,583	3,995	5,639	4,981	3,103	60,144	37,493	37,852	287,830
計	301,971	115,814	7,766	10,038	8,113	5,523	135,861	105,568	105,973	796,627

(5) 利用状況

ア 図書館利用冊数

館別	平成29	30	令和元	2	3
記念図書館	342,171	322,977	289,586	223,405	247,341
多賀図書館	300,571	295,366	267,658	212,093	231,798
十王図書館	306,313	279,472	254,173	177,000	196,751
南部図書館	304,415	301,269	281,250	214,864	248,439
移動図書館	32,637	31,042	31,402	28,604	31,983
W E B 館	74,668	74,902	74,492	56,738	74,267
交流センター等	14,902	14,858	13,813	7,347	7,935
総数	1,375,677	1,319,886	1,212,374	920,051	1,038,514

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R3.8.18～9.19まで臨時休館

イ 令和3年度 図書貸出者数

	一般	児童	計
記念図書館	41,068	5,886	46,954
多賀図書館	36,213	7,639	43,852
十王図書館	29,421	5,422	34,843
南部図書館	36,590	5,979	42,569
移動図書館	1,432	5,811	7,243
交流センター等	1,962	439	2,401
合計	146,686	31,176	177,862

ウ 登録者数

(令和4年3月31日現在)

	記念図	多賀図	十王図	南部図	移動図	日高	水木	大沼	南部支所	合計
一般	34,529	17,991	18,008	8,881	3,099	18	4	21	8	82,559
児童	3,381	3,796	2,852	2,486	4,435	1	4	25	1	16,981
計	37,910	21,787	20,860	11,367	7,534	19	8	46	9	99,540

※ 交流センター・南部支所は令和3年度中の新規登録者の数

(6) 活動のあらまし

ア 館内サービス

- 図書、新聞、雑誌、郷土資料、行政資料、電子書籍・資料等の収集・整理・提供
- 調査研究のための参考相談業務（レファレンスサービス）
- リクエストサービス
- 視覚障害者へのCD・カセットテープの郵送貸出
- 保育園・幼稚園・小学校へのおはなし会の実施及び中学校の職場体験学習への協力
- 図書目録・推薦図書目録などのブックリスト作成
- 団体への貸出（貸出延べ団体数511団体、貸出冊数5,472冊）

イ 館外サービス

- 移動図書館の巡回によるサービス（55ステーション）
- リクエストサービス
- 授業関連図書搬送
- 小・中学校巡回図書搬送
- 交流センター、各種文庫、団体への配本・貸出
- 交流センター等図書室（4館）、施設文庫（15施設）、団体配本（登録団体8団体：貸出延べ団体数23団体、貸出冊数2,068冊）

ウ ブックスタートパック配布（令和4年度実施予定148回）

- 図書館（99回）、保健センターほか（36回）

エ 各種行事の開催

(ア) 子ども向け

「おはなし会」「本を読んで作品（もの）づくり・絵をかこう展」「としょかんまつり」「戦争と平和を考えるこどもの本展」「国語の教科書に出てくる本展」「図書館がすすめるこどもの本展」「としょかんポイント大作戦！」など

(イ) 一般向け

「ブックパーティー」「親のための読み聞かせ講習会」「読み聞かせボランティア初級者研修会」「折り紙教室」や「多彩な本の企画展示」など

オ 電子書籍貸出サービス

- 新たな図書館サービスとして、利用者が図書館に来館することなくインターネット上で電子書籍の貸出しや返却ができるサービスを令和3年7月20日から提供開始（書籍数10,705点、貸出者数1,440人、貸出書籍数3,031点、貸出回数4,511回）。

3 郷土博物館

(1) 施設概要

名 称	所在地（電話）	敷地面積	建物延面積	主な設備等	職員数
郷土博物館	宮田町5-2-22 (23)3231 IP 050(5528)4923	m ² 2,601	m ² 2,804	展示室 3 集会室 1 収蔵庫 2 研究室 3	14 人 (うち会計年度任用 職員 8)

(2) 基本方針

郷土博物館は、郷土にかかわる考古、歴史、民俗、産業、美術、自然科学等の資料の調査・収集・保存・研究・展示活動を基本に、市民の教養と憩いの場、生涯学習の場としてふさわしい事業を実施するほか、文化財の保護を推進する。また、講演会、講習会等の行事開催や、自主グループ、ふるさと文化少年団活動の育成・支援を通して、教育普及活動に努める。

(3) 利用状況

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
有 料	—	—	—
無 料	14,766	6,833	7,089
総 数	14,766	6,833	7,089

(4) 特別展示等開催状況

展 示 名	開催期日	観覧者数	展 示 内 容
収蔵資料展 「ひたちのカワイイもの展」	R4. 3. 19 ～5. 15	3,587	当館の収蔵資料の中から美術・歴史・自然などの分野を横断して“カワイイ”をテーマにした展示を行った。
郷土博物館・かみね動物園協同企画「ズーハク」第7弾「ホンモノトレード」	R4. 3. 19 ～4. 10	2,358	両施設の展示に関する実物資料を交換し、それぞれ展示した。参加者には、ズーハクオリジナル缶バッジを参加賞として進呈した。

(5) ギャラリー展

展 示 名	開催期日	観覧者数	展 示 内 容
ギャラリー展 「戦時下の新収蔵資料」	R3. 6. 1 ～7. 25	715	戦後76年が経過し風化しつつある戦争を、日立に空襲があった6月から7月に合わせ当時の写真と近年収集した資料で振り返った。

(6) 各種行事開催状況（令和3年度）

講習会・講座		ふるさと文化少年団		長者山ガイドツアー		自主グループ	
回数（回）	人数（人）	回数（回）	人数（人）	回数（回）	人数（人）	回数（回）	人数（人）
20	641	8	400	2	21	11	55

※ 講習会・講座の内容

ふるさと教室、古文書学習会初級講座など

(7) 資料貸出し等状況（令和3年度）

（単位：件）

資 料	考 古	歴 史	民 俗	美 術	その他	歴史資料の 相談・閲覧
件 数	2	9	2	2	1	182

(8) 日立の文化財一覧

指定別	種 別	名 称	所 在 地
国指定	重要有形民俗文化財	日立風流物 (5段屋形開閉式山車1基)	宮田町
	重要無形民俗文化財	日立風流物	宮田町
	史 跡	長者山官衙遺跡及び常陸国海道跡	十王町
	天 然 記 念 物	いぶき山イブキ樹叢	十王町
国選択	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	日立風流物	宮田町
県指定	建 造 物	小野家住宅	諏訪町
	絵 画	絹本著色阿弥陀如来来迎図(1幅)	日立市郷土博物館
	彫 刻	木造釈迦如来三尊像(3体)	宮田町
		木造大日如来坐像	入四間町
		木造観音菩薩坐像	東河内町
		木造万年大夫夫婦坐像(4体) (胎内像を含む)	日立市郷土博物館
		木造薬師如来坐像	日立市郷土博物館
		木造聖徳太子坐像	金沢町
	工 芸 品	古鏡	弁天町
		蒔絵鏡箱(1合)	弁天町
	書 跡	大般若波羅密多經(17巻)	神峰町
	歴 史 資 料	訂正常陸国風土記版木付箱板2枚	茨城県立歴史館
		5馬力誘導電動機(1台) 附設計図(1枚)	小平記念館
	考 古 資 料	十王台遺跡出土十王台式土器	日立市郷土博物館
			東京国立博物館
	有形民俗文化財	日立風流物人形頭(122個)	神峰町
	無形民俗文化財	日立のささら(7地区)	宮田
			助川
			会瀬
			大久保
			諏訪
			水木
			成沢
史 跡	佛ヶ浜(度志観音を含む)	田尻町	
		助川海防城跡	助川町
		泉が森	水木町
		旧久原本部	日鉦記念館
		南高野貝塚	南高野町
		海鷲渡来地	川尻町
天 然 記 念 物	御岩山の三本杉 駒つなぎのイチョウ	入四間町	
		大久保町	
		大みか町	
市指定	建 造 物	泉川道標	大みか町
		入四間道標	東河内町
		旧共楽館(日立武道館)	白銀町

指定別	種 別	名 称	所 在 地	
市指定	建 造 物	下孫停車場紀年碑	多賀町	
	絵 画	絹本著色涅槃図	日立市郷土博物館	
	彫 刻	木造阿弥陀如来坐像	入四間町	
		木造阿弥陀如来坐像	日立市郷土博物館	
		木造釈迦如来 多宝如来並坐像	西成沢町	
		日光・月光菩薩立像	日立市郷土博物館	
	工 芸 品	火縄三眼鏡	日立市郷土博物館	
		旧助川西上町舞屋台(山車 1 台)	鹿島町	
		東叡山石燈籠 (3 基)	諏訪町	
		太刀(銘・大江勝永) 一口	千石町	
		短刀(銘・驚鯢丸) 一口	千石町	
	書 跡	藤田東湖揮毫諏訪神社大幟(2 流)	日立市郷土博物館	
	歴 史 資 料	藤田東湖揮毫南高野鹿島神社大幟(4 流)	日立市郷土博物館	
		吉田神社棟札(27枚)	日立市郷土博物館	
		鱸神社棟札	十王町	
		友部村絵図	日立市郷土博物館	
	考 古 資 料	諏訪遺跡出土縄文土器(35点)	日立市郷土博物館	
		愛宕原火葬墓出土骨蔵器	日立市郷土博物館	
		十王台南遺跡第1号住居跡出土遺物	日立市郷土博物館	
	有形民俗文化財	明王山不動尊の絵馬 7 面	神峰町	
		日立郷土芸能保存会北町支部所有の日立風流物人形頭(21個)	日立市郷土博物館	
		日立郷土芸能保存会西町支部所有の日立風流物人形頭(17個)	日立市郷土博物館	
		黒田入口 道標	十王町	
		大原道標	十王町	
	無形民俗文化財	鶺鴒捕りの技術	十王町	
		鹿嶋神社流鎚馬	大久保町	
	史 跡	助川海防城跡(県指定区域を除く)	助川町	
		大窪城跡及び暇修館跡	大久保町	
		相馬碑	多賀町	
		十王前横穴	川尻町	
		甕の原古墳群 3 号墳	大みか町	
		甕の原古墳群 4 号墳	大みか町	
		山野邊家墓所	高鈴町	
		水漏舎小学校跡	中成沢町	
		名 勝	玉簾の滝	東河内町
		小貝浜	川尻町	
	天 然 記 念 物	大甕神社境内樹叢	大みか町	
		澳津説神社のシイ	小木津町	
		本山の一本杉	宮田町	
		諏訪のヤマザクラ	諏訪町	
		愛宕神社境内「椎」	十王町	
	登録有形文化財	建 造 物	旧共楽館(日立武道館)	白銀町
	「ユネスコ無形文化遺産に関する条約」における「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」への記載	無 形 文 化 遺 産	日立風流物	宮田町

4 視聴覚センター

(1) 施設概要

名 称	所在地（電話）	建物延面積	主な設備等	職員数
視聴覚センター	幸町1-21-1 (24)5055 IP 050 (5528) 4917 日立シビックセンター地下	m ² 417.4	教材・機材貸出コーナー 映像セミナー室 会議室 制作編集室	人 10 (うち会計年度 任用職員7人、 再任用1人)

(2) 基本方針

市民の視聴覚文化の拠点として、視聴覚教材・機材の有効な利用の拡大を図り、市民の学習及び文化活動を支援し、学校教育及び生涯学習の振興に寄与する。

(3) 主な事業

ア 映像文化振興事業

視聴覚センター及び市内各所（学校、地域、公共施設等）での映画会等を開催し、映像文化の普及・発展を図るとともに、視聴覚教材・機材を提供し、市民の学習及び文化活動を支援する。

イ 郷土映像制作事業

郷土関連の映像教材を制作・供給し、市民の学習及び文化活動を支援する。（学校対象の教材及び地域の自主学習等で利用できる教材を制作する。）また、貴重な郷土資料の撮影、編集、保存を行う。

(4) 利用状況

ア 施設利用状況

年度	利 用 件 数			利 用 人 数		
	学校教育	社会教育	計	学校教育	社会教育	計
平成29	14件	289件	303件	181人	6,907人	7,088人
30	25件	253件	278件	442人	5,580人	6,022人
令和元	14件	211件	225件	220人	5,108人	5,328人
2	0件	50件	50件	0人	274人	274人
3	0件	12件	12件	0人	141人	141人

イ 視聴覚教材・機材の保有数

(ア) 視聴覚教材（貸出用）

(令和4年3月31日現在)

	16mmフィルム	ビデオテープ	DVD	その他
保有数	659本	3,341本	1,258本	205本

(イ) 視聴覚機材（貸出用）

(令和4年3月31日現在)

	映写機	DVD	VTR	ビデオプロジェクト	その他
保有数	3台	5台	1台	6台	暗幕等

ウ 視聴覚教材・機材の利用状況

(ア) 視聴覚教材利用件数

(単位：件)

区分 年度	16mmフィルム	ビデオテープ	DVD	その他
平成29	10	431	3,719	5
30	5	365	3,427	0
令和元	8	122	2,720	2
2	1	57	992	11
3	0	3	1,242	0

(イ) 視聴覚機材利用件数

(単位：件)

区分 年度	映写機	DVD	VTR	ビデオプロジェクト	その他
平成29	1	87	1	179	478
30	2	91	0	200	487
令和元	0	132	1	253	486
2	1	64	4	168	359
3	0	73	0	176	304

(5) 各種事業の実施状況

ア 上映会実施状況（令和3年度）

事業名	回数	人数	備考
館内上映会	0	0	新型コロナウイルス感染拡大の影響により休止
館外上映会 ひたちシネマススペシャル	2	293	期日：12月25日(土) 場所：多賀市民会館ホール 上映作品：①「風の谷のナウシカ」93人 ②「千と千尋の神隠し」200人
地域支援上映会等	12	295	市内交流センター等で開催

イ 自主教材制作等（令和3年度）

(ア) 映像記録・制作協力等

東京オリンピック聖火リレー撮影記録など

ウ 映像アーカイブの活用

(ア) 行政放送番組「映像ライブラリー」での自主制作教材10タイトルの放映。

(イ) YouTubeへの映像コンテンツ（66タイトル）の掲載。

エ その他

パブリックビューイングの開催（共催：スポーツ振興課）

内 容：第92回都市対抗野球大会（日立市代表「日立製作所」）観戦応援

①期 日：11月30日(火)、場 所：池の川さくらアリーナ(スポーツラウンジ)

対 戦：浜松市代表「ヤマハ」、来場者：48人

②期 日：12月4日(土)、場 所：日立シビックセンター(多用途ホール)

対 戦：名古屋市代表「東邦ガス」、来場者：45人

5 その他の施設

名 称	所在地（電話）	敷地面積 m ²	建物延面積 m ²	主な設備等	建設年月日	職員数 人
暇修館	大久保町4-15-1 (36)0553	1,641	183	和室（6） 管理人室	S 48. 5. 1	1 (会計年度任用 職員 1)

V スポーツ

1 スポーツの推進

(1) 基本方針

スポーツ環境の充実、競技力の向上とスポーツ団体の活性化、スポーツを通じた交流人口の拡大により、子どもから高齢者まで様々な年代の方や、障害のある方などを含めた幅広い市民が、健康で生きがいをもって暮らせる地域を目指す。

(2) スポーツの重点施策

ア スポーツ活動の推進

(ア) スポーツ活動の日常化を推進するため、公益財団法人日立市スポーツ協会をはじめ、加盟各関係団体等と連携し、従来の競技スポーツと併せ、世代間交流を深めるファミリースポーツを実施する。

(イ) 市民の自主的・自発的なスポーツ活動を積極的に進めるため、公益財団法人日立市スポーツ協会等と連携し、各種スポーツ教室及び大会・競技会を開催する。

(ウ) スポーツ人口の底辺拡大や競技力向上を図るため、池の川さくらアリーナ等を活用したプロスポーツや大規模スポーツ大会の誘致による「みるスポーツ」、「ささえるスポーツ」を推進する。

(エ) 子どもたちがスポーツに親しむ習慣を身に付ける上で重要な役割を果たし、「生涯スポーツ」の基礎づくりを担っているスポーツ少年団に対し、活動場所の確保や団員増加を図るための支援を推進する。

イ 体育関係団体の自主的活動への支援促進

(ア) 公益財団法人日立市スポーツ協会の設立目的であるスポーツの振興を図るため、スポーツ・レクリエーション大会の開催など自主事業の展開を支援する。

(イ) 日常生活の中にスポーツを取り入れ、個々のライフステージを豊かにするため、スポーツに関する指導助言を行うなど地域のリーダーとなるスポーツ推進委員協議会の自主的活動を支援する。

(ウ) 身近な場所で、多様なスポーツ・レクリエーション活動に参加できる環境をつくるため、総合型地域スポーツクラブの育成普及を推進する。

ウ スポーツ施設の整備・充実

市民のスポーツ・レクリエーション活動の場を確保するため、市民運動公園、スポーツ広場、市民広場及び学校体育施設の計画的な整備を推進する。

エ スポーツ指導者の養成・確保

公益財団法人日立市スポーツ協会と連携し、スポーツ指導者を養成する各種講習会・研修会を開催する。

オ 学校体育施設開放事業の推進

地域住民に対し、身近にスポーツ・レクリエーション活動が出来る場を提供するため、学校の体育施設（体育館、柔剣道場、運動場・プール）を学校教育に支障のない範囲で開放する。

※ 公益財団法人日立市体育協会は令和4年4月1日に公益財団法人日立市スポーツ協会と名称変更

2 スポーツ施設

(1) 市民運動公園

豊かな緑と芝生の中に体育館、陸上競技場、野球場及びテニスコートなどの各種体育施設や憩いの場を配したスポーツ・レクリエーションの拠点として、市民の体力づくり、スポーツ振興、レクリエーションの需要にこたえるために整備された総合公園。

令和元年に開催された「いきいき茨城ゆめ国体2019」では、卓球、バスケットボール、軟式野球、体操（体操競技・新体操）、パンポンの競技会場として使用された。

所在地（電話・FAX）	東成沢町2丁目15番1号 電話 35-0767 FAX 34-1191		
建設年度	昭和44年10月工事着工・昭和51年3月完工		
敷地面積	105,385m ² （臨時駐車場等除く。）	備考	日立市施設の補助執行

(2) スポーツ広場

市民が地域でスポーツ、レクリエーションに親しみながら健康・体力づくりができるよう、幅広く活用できる施設。

名称	折笠 スポーツ広場	諏訪 スポーツ広場	十王 スポーツ広場	河原子北浜 スポーツ広場	中里 スポーツ広場
所在地 (電話・FAX)	折笠町 987番地1 電話・FAX 43-2397	諏訪町 963番地3 電話・FAX 38-0963	十王町友部 1936番地1 電話・FAX 39-2446	河原子町 1丁目5番 電話・FAX 35-5050	入四間町 513番地1 電話・FAX 59-0818
開設年月日	平成5年4月1日	平成9年4月1日	昭和53年4月1日	平成19年9月1日	昭和58年4月1日
敷地面積	30,218m ² (臨時駐車場除く。)	46,788m ²	39,534m ²	67,443m ²	38,422m ²

(3) 武道館

柔道・剣道・空手等の武道のほか、健康体操や卓球等でも利用できる施設。

名称	日立武道館	多賀武道館
所在地 (電話・FAX)	白銀町2丁目21番15号 電話・FAX 22-0361	未広町1丁目1番2号
開設年月日	昭和43年2月1日 (大正6年創建)	昭和54年6月1日

(4) 市民プール

体力向上やレクリエーションの場として夏季（7月1日～9月10日）に利用できる施設。

名称	じゅうおう市民プール
所在地 (電話・FAX)	十王町友部1936番地1 電話・FAX 39-2446
開設年月日	昭和55年6月
備考	市長事務局からの事務委任

(5) 市民広場等

市民が気軽に野球やサッカー等のスポーツやレクリエーションの場として利用できる広場。

名称	滑川市民広場	十王市民広場	高鈴少年広場
所在地	滑川本町1丁目21番	十王町伊師3462番地	高鈴町2丁目7番
開設年月日	昭和39年10月1日	昭和59年4月1日	昭和54年5月1日
敷地面積	18,238m ²	10,925m ²	14,999m ²
備考	日立市施設の補助執行		

(6) 利用状況

(単位：人)

施設	年度	平成29	30	令和元	2	3
総 数		807,822	787,503	776,785	364,232	468,042
運 動 公 園		498,164	475,699	483,005	159,513	244,473
総 合 体 育 館		350,639	327,820	342,407	83,063	151,388
テニスコート		69,278	60,781	56,241	47,677	46,762
陸上競技場		40,845	56,444	45,202	20,471	27,579
野 球 場		37,402	30,654	39,155	8,302	18,744
市 民 広 場		19,992	19,567	13,276	8,301	10,716
滑 川		7,974	9,744	5,506	3,978	5,426
十 王		3,557	2,077	1,887	685	840
高 鈴		8,461	7,746	5,883	3,638	4,450
市 民 プ ー ル		5,454	6,752	4,781	0	3,573
じゅうおう		5,454	6,752	4,781	0	3,573
武 道 館		29,926	29,826	24,456	17,967	20,551
日 立		13,596	15,578	15,153	10,605	11,172
多 賀		16,330	14,248	9,303	7,362	9,379
折笠スポーツ広場		93,395	102,372	111,231	80,823	89,656
自 由 広 場		54,384	56,543	62,850	43,398	51,989
テニスコート		39,011	45,829	48,381	37,425	37,667
諏訪スポーツ広場		62,578	58,832	61,699	49,791	46,055
自 由 広 場		16,163	15,253	13,500	10,577	10,952
テニスコート		36,666	33,331	38,385	31,669	26,987
ターゲットパードゴルフコース		9,749	10,248	9,814	7,545	8,116
十王スポーツ広場		75,745	72,886	57,070	38,476	41,056
体 育 館		55,593	52,319	44,527	27,156	31,620
自 由 広 場		10,154	11,587	7,095	5,978	5,724
テニスコート		9,998	8,980	5,448	5,342	3,712
河原子北浜スポーツ広場		12,306	12,016	11,978	7,144	9,086
ターゲットパードゴルフコース		12,306	12,016	11,978	7,144	9,086
中里スポーツ広場		10,262	9,553	9,289	2,217	2,876
自 由 広 場		10,262	9,553	9,289	2,217	2,876

3 学校施設開放

(1) 開放施設一覧

No.	小 学 校	所 在 地	体育館	運動場	プール	夜間照明	柔剣道場
1	助 川	助川町2-15-1	○	○	○	—	—
2	会 瀬	会瀬町2-17-10	○	○	○	—	—
3	宮 田	本宮町2-9-1	○	○	○	—	—
4	滑 川	滑川本町1-20-7	○	○	○	—	—
5	仲 町	宮田町5-5-1	○	○	○	—	—
6	中 小 路	平和町2-4-1	○	○	○	—	—
7	大 久 保	末広町1-1-1	○	○	○	—	—
8	河 原 子	河原子町4-3-4	○	○	○	—	—
9	成 沢	中成沢町3-16-8	○	○	○	—	—
10	諏 訪	諏訪町3-10-1	○	○	○	—	—
11	水 木	水木町1-6-1	○	○	○	—	—
12	大 み か	大みか町3-19-15	○	○	○	—	—
13	大 沼	東大沼町2-1-8	○	○	○	—	—
14	金 沢	金沢町5-2-1	○	○	○	—	—
15	埴 山	金沢町2-14-1	○	○	○	—	—
16	油 縄 子	鮎川町3-11-1	○	○	○	—	—
17	田 尻	田尻町4-39-1	○	○	○	—	—
18	日 高	日高町2-12-1	○	○	○	—	—
19	豊 浦	折笠町741	○	○	○	—	—
20	久 慈	久慈町1-23-1	○	○	—	—	—
21	坂 本	南高野町3-21-1	○	○	○	—	—
22	東 小 沢	下土木内町617	○	○	○	—	—
23	櫛 形	十王町伊師本郷508	○	○	○	—	—
24	山 部	十王町山部841	○	○	—	—	—
No.	中 学 校	所 在 地	体育館	運動場	プール	夜間照明	柔剣道場
1	助 川	鹿島町3-5-1	○	○	○	—	○
2	平 沢	高鈴町1-15-1	○	○	—	—	—
3	駒 王	神峰町3-2-32	○	○	○	—	○
4	滑 川	東滑川町3-17-1	○	○	○	—	○
5	多 賀	鮎川町3-11-2	○	○	○	○	—
6	大 久 保	末広町5-12-34	○	○	—	—	—
7	河 原 子	東多賀町4-10-10	○	○	—	—	—
8	泉 丘	水木町2-9-1	○	○	○	○	—
9	台 原	台原町1-9-1	○	○	○	—	○
10	日 高	小木津町3-26-1	○	○	○	—	○
11	豊 浦	川尻町3-11-1	○	○	○	○	—
12	久 慈	久慈町6-20-2	○	○	—	○	○
13	坂 本	石名坂町1-30-1	○	○	○	—	—
14	十 王	十王町友部600	○	○	—	—	○
No.	義務教育学校	所 在 地	体育館	運動場	プール	夜間照明	柔剣道場
1	中里小中学校	東河内町1953-1	○	○	○	—	—
合 計			39	39	32	4	7

※ 改修工事等により使用できない場合があります。

(2) 令和3年度学校体育施設開放利用状況

学校名	件名	運動場		体育館		柔剣道場		プール		合計		利用日数
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
小学校	助川	128	3,445	72	1,182	—	—	4	212	204	4,839	154
	会瀬	43	1,530	214	4,069	—	—	2	84	259	5,683	194
	宮田	49	902	188	2,850	—	—	0	0	237	3,752	171
	滑川	77	2,185	149	3,023	—	—	4	97	230	5,305	159
	仲町	68	1,923	176	3,635	—	—	0	0	244	5,558	159
	中小路	87	2,052	177	3,046	—	—	0	0	264	5,098	188
	大久保	129	3,729	156	2,998	—	—	0	0	285	6,727	215
	河原子	53	2,496	218	3,649	—	—	0	0	271	6,145	149
	成沢	52	1,157	281	5,772	—	—	2	33	335	6,962	206
	諏訪	91	3,722	191	3,399	—	—	0	0	282	7,121	172
	水木	35	1,353	130	2,054	—	—	0	0	165	3,407	149
	大みか	23	456	134	2,452	—	—	0	0	157	2,908	120
	大沼	76	2,725	264	3,940	—	—	0	0	340	6,665	219
	金沢	59	1,021	183	2,069	—	—	0	0	242	3,090	162
	塙山	98	2,501	147	3,270	—	—	0	0	245	5,771	165
	油縄子	60	1,450	20	208	—	—	0	0	80	1,658	75
	田尻	125	5,060	83	1,409	—	—	0	0	208	6,469	132
	日高	0	0	223	3,043	—	—	0	0	223	3,043	185
	豊浦	77	2,647	105	1,048	—	—	0	0	182	3,695	132
	久慈	0	0	175	3,515	—	—	0	0	175	3,515	125
坂本	79	1,567	227	5,965	—	—	0	0	306	7,532	197	
東小沢	1	10	127	1,607	—	—	0	0	128	1,617	98	
中里	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	
櫛形	54	2,893	324	7,166	—	—	0	0	378	10,059	219	
山部	0	0	62	877	—	—	0	0	62	877	57	
小計	1,464	44,824	4,026	72,246	—	—	12	426	5,502	117,496	3,802	
中学校	助川	0	0	304	3,712	115	804	0	0	419	4,516	233
	平沢	0	0	120	1,746	0	0	0	0	120	1,746	115
	駒王	0	0	296	3,522	181	1,591	0	0	477	5,113	268
	滑川	0	0	193	2,184	36	372	0	0	229	2,556	172
	多賀	4	30	182	2,480	0	0	0	0	186	2,510	184
	大久保	9	90	98	1,011	0	0	0	0	107	1,101	100
	河原子	0	0	287	3,491	0	0	0	0	287	3,491	259
	泉丘	14	500	160	2,263	0	0	0	0	174	2,763	154
	台原	34	678	166	2,059	118	1,287	0	0	318	4,024	221
	日高	2	25	314	3,895	21	373	0	0	337	4,293	235
	豊浦	0	0	165	1,701	0	0	0	0	165	1,701	161
	久慈	42	760	161	1,863	161	1,163	0	0	364	3,786	207
	坂本	0	0	125	1,412	0	0	0	0	125	1,412	124
	中里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十王	0	0	153	1,636	87	1,155	0	0	240	2,791	203	
小計	105	2,083	2,724	32,975	719	6,745	0	0	3,548	41,803	2,636	
合計	1,569	46,907	6,750	105,221	719	6,745	12	426	9,050	159,299	6,438	

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の使用中止期間（8～9月）あり。

VI 資料編

1 日立市教育委員会及び日立市の沿革

	日立市教育委員会	日立市
昭和 21年		戦災復旧事業に着手する。
23		日立市水道株式会社が市営となる。 かみね公園の整備に着手する。
26		市計画事業により、平和通り（幹線道路、幅員 36m）が開通し、街路樹としてサクラを植栽する。
27	教育委員会法の制定により、地方教育委員会選 挙が実施される。（10.5） 日立市教育委員会を設置する。（11.1） 事務局に、庶務課、学校教育課、社会教育課を 設ける。（職員22名）	
28	大雄院、中小路幼稚園を開園する。（4.1）	
30	事務局に体育保健課を加える。 油縄子小学校を開校する。（4.1）	日立、多賀、久慈、中里、日高、坂本、東小沢1 市2町4村合併による新日立市が誕生する。（世 帯数26,696世帯、人口129,300人）
31	教育委員会法の改正により教育委員が任命制と なる。（10.1）	豊浦町が編入合併する。
32		久慈商港（現日立港）の起工式が行われる。
33	日立市文化協会が発足する。	
34		日立風流物が、国の重要民俗資料（重要有形民俗 文化財）に指定される。
35	多賀中学校大久保分校を開校する。（4.1）	日立港後背地（214.5ha）の土地区画整理事業に着 手する。
36	大久保中学校として独立する。（4.1） 宮田、河原子幼稚園を開園する。（4.1） 成沢公民館を開館する。	
37	上諏訪小学校を油縄子小学校に吸収統合する。 （3.31） 市制施行20周年記念事業として記念図書館を開 館する。（11.6）	
38	上諏訪青少年の家を開設する。（4.1） 事務局に指導室を加える。（4.1）	
40	中深荻小学校菅分校を廃校する。（3.11） 会瀬青少年の家を開設する。 日立市美術展覧会事業を開始する。	日立市民会館を建設する。 群馬県桐生市と国内親善都市を提携する。
41	北部学校給食共同調理場を開設する。（5.1） 移動図書館を開始する。（10.15）	

	日立市教育委員会	日立市
42	中深荻小学校を中里小学校に吸収統合する。(3. 31) 大雄院小学校に言語障害児学級を設置する。(4. 1) 塙山幼稚園を開園する。(4. 1) 機構改革により、総務課（庶務係、施設係）、学務課（学務係、管理係、給食係）、社会教育課（社会教育係、体育係）、指導室を設置する。(7. 1)	日立港が開港し、重要港湾に指定される。
43	河原子中学校を開校する。(4. 1) 久慈、水木幼稚園を開園する。(4. 1) 南部学校給食共同調理場を開設する。(4. 1) 日立養護学校高等部を開設する。(4. 1)	
44	諏訪小学校を開校する。(4. 1) 滑川幼稚園を開園する。(4. 1) 日立市が文部省特殊教育推進地区に指定される。(昭和44・45年度) 教育研究所を開所する。(6. 30)	公共下水道事業に着手する。
45	根道丘幼稚園を開園する。(4. 1) 大久保小学校にことばの教室を設置する。(4. 1) 産業文化会館内に記念図書館多賀分館を開館する。(5. 11) 中里公民館を開館する。(5. 20)	重度心身障害児のための施設「太陽の家」を開設する。
46	事務局の係制度を廃止する。(2. 1) 入四間小学校を中里小学校に吸収統合する。(3. 31) 金沢小学校、日立養護学校小学部を開校する。(4. 1)	日立市民運動実践協議会が組織化される。
47	日立養護学校川尻分校を開校する。(4. 1) 南高野、中里幼稚園を開園する。(4. 1)	
48	成人式を実行委員会方式により実施する。(1. 15) 事務局に学校施設課、体育保健課を加える。(4. 1) 滑川小学校を開校する。(4. 1) 高鈴幼稚園を開園する。(4. 1) 坂下公民館を開館する。(4. 1) 奨学金貸付事業が教育委員会に移管され、貸付事業を開始する。(制度は昭和40年に民生部で開始)(4. 1) 暇修館を復元する。 視聴覚センターを開所する。(6. 1)	市民運動公園の建設に着手する。
49	指導室を指導課に改称する。(1. 1) 大みか小学校を開校する。(4. 1) 豊浦幼稚園を開園する。(4. 1) 助川小学校に病弱学級を設置する。(4. 1) 成沢小学校に情緒障害児学級「なるさわ学級」を設置する。(4. 10) 養護学校川尻分校を助川分校に変更する。(5. 1) 多賀公民館河原子分館を開館する。(6. 1)	第29回国民体育大会が茨城県で開催され、日立市でサッカー、バスケット、柔道、軟式野球の4種目が行われる。
50	本山中学校を駒王中学校に吸収統合する。(3. 31) 日立養護学校中学部を開校する。(4. 1) 大沼幼稚園を開園する。(4. 1) 郷土博物館を開館する。(4. 12) 市民運動公園管理事務所を設置する。(10. 11)	特別養護老人ホーム「日立萬春園」を開設する。

	日立市教育委員会	日立市
51	田尻、金沢幼稚園を開園する。(4. 1) 中央学校給食共同調理場を開設する。(4. 1) 太陽の家、母子療育ホームに肢体不自由児学級を設置する。(4. 1)	もとやま自然の村を開設する。
52	大雄院幼稚園を廃園する。(3. 31) 田尻小学校を開校する。(4. 1)	市の花「サクラ」、市の木「ケヤキ」を制定する。 日立風流物が国の重要無形民俗文化財に指定される。
53	本山小学校を仲町小学校に吸収統合する。(3. 31) 会瀬幼稚園を開園する。(4. 1) 大久保小学校にきこえの教室を設置する。(4. 1) 事務局に学校管理課を加える。(7. 1)	心身障害者スポーツセンター福祉作業所を開設する。
54	大雄院小学校を仲町小学校に吸収統合する。(3. 31) 埴山小学校を開校する。(4. 1) 言語障害児学級を大雄院小学校から助川小学校に移設する。(4. 1) 日立市奨学金貸付基金(基金額1億円)を設置する。(4. 1) 教育研究所が会瀬小学校内に移転する。(4. 1)	
55	滑川、台原中学校を開校する。(4. 1) 泉が森公民館を開館する。(4. 1)	清掃センターを開設する。
56	記念図書館多賀分館を多賀図書館とする。(3. 31) きこえ、ことばの教室を大久保小学校から油縄子小学校に移設する。(4. 1) 駒王中学校に情緒障害児学級を設置する。(4. 1) 教育会館を開設し、視聴覚センター、教育研究所、多賀図書館を移設、開館する。(5. 1)	公設地方卸売市場を開設する。
57	機構改革により、庶務課(庶務係、施設係)、学務課(学務係、管理係)、社会教育課(社会教育係、文化係)、体育保健課、指導課を設置する。(4. 1)	アメリカ合衆国アラバマ州バーミングハム市と姉妹都市を提携する。 知的障害者厚生施設「大みかけやき荘」を開設する。(4. 1)
58	中里若者センターを開所する。 東金沢公民館を開館する。(5. 1)	日立銀座モールが完成する。
59	外国人派遣指導主事(MEF)を配置する。(7. 1)	ごみ処理余熱利用施設としてかみね温水プールを開設する。
60	会瀬青少年の家を改築する。(7. 1)	常磐自動車道が日立北インターチェンジまで開通する。 日立共同福祉施設「ホリゾンかみね」を開設する。
61	バーミングハム市に交歓研修生として中学生7名を派遣する。(8. 20~29)	茨城厚生年金健康福祉センター「サンピア日立」を開設する。
63	滑川公民館を開館する。 ひたち生き生き百年塾推進本部が発足する。(8. 20)	ニュージーランド タウランガ市と姉妹都市を提携する。

	日立市教育委員会	日立市
平成 2	記念図書館がシビックセンター内に移転する。 (11. 10)	日立駅前再開発整備事業の中核施設として「日立シビックセンター」を開設する。
3		助川町の山林火災で、約217ヘクタールの林野が消失する。 パティオモールが完成する。(12. 10)
4	市民運動公園陸上競技場を、全天候グラウンドに改修する。(3. 23) 事務局に生涯学習室を設置する。(4. 1) (財)日立市体育協会を設立する。(4. 1) 生涯学習総合イベントを開催する。(11. 14, 15)	
5	折笠スポーツ広場が完成する。(3. 31) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」を勤労青少年ホーム内に開設する。(7. 1) 駒王中学校屋内運動場が完成する。(8. 25)	日立鉱山大煙突が崩壊する。(2. 19) 日立中央インターチェンジが開通する。 (10. 20)
6	市民運動公園管理事務所を廃止する。(3. 31) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」が産業文化会館内に移転する。(4. 1) 小・中・養護学校全校にファックスが導入される。 (7. 1) 助川中学校屋内運動場が完成する。(10. 20) 中部市民広場の整備に着手する。(12. 23)	奥日立きららの里を開設する。(5. 28) みなみひまわり学園を開園する。(6. 1) 日立萬春園デイサービスセンターを開設する。(12. 21)
7	バーミンガム市に交歓研修生として中学生14名を派遣する。(8. 1~8. 11)	終戦50周年記念事業として、平和の鐘が日立駅前広場に設置される。
8	機構改革により、総務課(庶務財政係、計画調整係)、施設整備課(施設係、学校管理係)、学務課、生涯学習課(生涯学習係、文化係)、スポーツ振興課、指導課を設置する。(4. 1)	
9	諏訪スポーツ広場が完成する。(3. 20) 豊浦中学校屋内運動場が完成する。(5. 7) 教育プラザを開館する。(12. 22) 教育委員会事務局が教育プラザ内に移転する。 (12. 22)	
10	増訂版「日立の文化財」を発刊する。	
11	旧共楽館(伝統的木造建築物)が国の登録有形文化財に登録される。(3. 19)	日立地区産業支援センターを開設する。
12	機構改革により、総務課(庶務財政係、計画調整係、施設係)、学務課(学務係、学校管理係)、生涯学習課、スポーツ振興課、青少年課、指導課を設置する。 (4. 1) 泉丘中学校新校舎が完成する。	複合老人福祉施設「かねはた」を開設する。 日立市保健センターを開設する。
13	養護学校助川分校を廃校する。(3. 31) 滑川公民館を自主運営化する。(4. 1)	新ごみ処理施設「エコクリーンかみね」を開設する。

	日立市教育委員会	日立市
14	事務局に教育行政推進担当を設置する。(4. 1) 東金沢公民館を自主運営化する。(4. 1) ブックスタート事業を開始する。(7. 1) 記念図書館「子ども読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受ける。(4. 23)	介護予防拠点施設「中里ふれあいプラザ」がオープンする。 全国高等学校総合体育大会が茨城県で開催され、日立市でバスケットボールの1種目が行われる。
15	駒王中学校新校舎が完成する。 久慈幼稚園を廃園する。(3. 31) 日立、坂下、多賀、日高、豊浦、中里、久慈公民館を自主運営化する。(4. 1)	介護予防拠点施設「会瀬ふれあいプラザ」を開設する。 市のさかな「さくらダコ」を制定する。 茨城キリスト教大学と連携協定を締結する。 (11. 25)
16	久慈、坂下、中里公民館を移転する。 日立市学校教育振興プランを策定する。(8. 20) 楡形幼稚園、楡形・高原・山部小学校、十王中学校、十王図書館、十王公民館が加わる。(11. 1)	吉田正音楽記念館を開設する。(4. 29) 山形県山辺町と友好都市を提携する。(5. 7) 十王町と合併する。(11. 1)
17	事務局から教育行政推進担当を廃止する。(4. 1) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」が青少年ホーム内に移転する。(4. 1)	市民課、中部支所を土・日曜日開庁とする。 (6. 4) 日立電鉄線が廃止される。
18	久慈中学校屋内運動場が完成する。(3. 6) 十王公民館を除く公民館及び分館を廃止する。(3. 31) 教育研究所が教育プラザ内に移転する。(9. 1)	公民館、コミュニティセンター、ふれあいプラザ等の名称を交流センターに統一する。 (4. 1) 多賀市民プラザを開設する。 子どもすくすくセンターを開設する。 茨城県県北生涯学習センターを開設する。
19	高原小学校を楡形小学校に吸収統合する。(3. 31) 中央学校調理場及び南部調理場を廃止し、南高野調理場を設置する。(8. 1) 北部調理場を宮田調理場に改称する。(8. 1) 河原子北浜スポーツ広場を開設する。(9. 1) 多賀図書館を改修し、子ども図書室及び小・中学生調べ学習室を整備する。(11. 1)	十王公民館を十王交流センターに変更する。 (4. 1) ねりんピックいばらき2007が開催され、日立市では卓球とターゲットバードゴルフの2種目が行われる。(11. 10)
20	坂本小学校新校舎が完成する。(3. 4) 中学生海外短期留学支援事業を開始する。(3. 12) 十王図書館の無休化を試行する。(8. 4)	消防拠点施設を開設する。 南部支所を土・日曜日開庁とする。(4. 12) 国民文化祭いばらき2008が開催される。(11. 1)
21	日高中学校屋内運動場が完成する。(3. 3) 中里若者センターを中里スポーツ広場に改称する。 (4. 1) (株)日立製作所(日立理科クラブ)と理数教育の連携協力事業を開始する。(4. 1) 多賀図書館、視聴覚センターの無休化を試行する。 (5. 4) 旧共楽館(日立武道館)が、市指定有形文化財(建造物)になる。(9. 30)	市制施行70周年記念式典が行われる。(9. 1) 「たかはら自然体験交流施設」を開設する。 日立風流物が「ユネスコ無形文化遺産の保護に関する条約」の「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載される。(9. 30)
22	記念図書館の無休化を試行する。(1. 5) 市民運動公園野球場を全面人工芝に改修する。(3. 24) 日立市教育プラザ内に日立市子ども発達相談センターを開設する。(4. 1)	第17回全国鶉飼サミット日立大会が行われる。(4. 8～9)

	日立市教育委員会	日立市
22	<p>中里幼稚園を休園とする。(4. 1)</p> <p>青少年課を生活環境部に移管する。(4. 1)</p> <p>日立市長杯選抜野球大会が、第34回大会から日本野球連盟主催大会となり、優勝チームに社会人野球日本選手権大会への出場権が与えられる大会となる。</p> <p>日本プロ野球名球会等の元プロ野球選手による「ドリーム・ベースボール」(親善野球、野球教室、講演会)を開催する。(8. 29)</p> <p>田尻小学校に「元気な子ども遊びの広場」を開所する。(9. 21)</p> <p>田尻幼稚園・大沼幼稚園で預かり保育を試行する。(10. 1)</p>	<p>久慈サンピア日立、久慈サンピア日立スポーツセンターを開設する。(4. 21)</p> <p>河原子海岸北浜で全日本サーフィン選手権大会が行われる。(8. 25~29)</p> <p>日立市角記念市民ギャラリーを開設する。(10. 1)</p>
23	<p>視聴覚センターがシビックセンター内に移転する。(3. 19)</p> <p>日立市未来をひらく子ども教育基金(基金額10,000万円)を設置する。(3. 22)</p> <p>大久保中学校新校舎が完成する。(3. 23)</p> <p>河原子中学校屋内運動場が完成する。(3. 25)</p> <p>十王町史通史編を刊行する。(3. 31)</p> <p>河原子幼稚園を休園とする。(4. 1)</p> <p>日立武道館の改修工事が完了し利用再開する(5. 13)</p> <p>市立図書館の広域利用(北茨城市、高萩市、常陸太田市、いわき市)を開始する。(7. 1)</p> <p>多賀図書館におはなし広場「ふわふわ」を整備する。(11. 11)</p>	<p>日立シビックセンターが平成22年度地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞する。(授賞式1. 21)</p> <p>東北地方太平洋沖地震が発生(東日本大震災)、海岸部を中心として市全域で大きな被害を受ける。(3. 11)</p> <p>日立駅自由通路・橋上駅舎が完成する。(4. 7)</p> <p>市役所窓口業務を臨時庁舎に移転する。(8. 29)</p>
24	<p>事務局に新体育館建設準備室を設置する。(1. 1)</p> <p>多賀図書館内に「日立市子ども読書活動推進センター」を設置する。(3. 1)</p> <p>日高中学校新校舎が完成する。(3. 8)</p> <p>会瀬小学校新校舎及び会瀬幼稚園新園舎が完成する。(3. 16)</p> <p>平沢中学校屋内運動場が完成する。(3. 30)</p> <p>機構改革により、総務課(庶務係、計画財務係、新図書館施設建設担当)、学校施設課(管理係、施設係)、学務課、生涯学習課、スポーツ振興課、新体育館建設準備室、指導課を設置する。(4. 1)</p> <p>日立養護学校を日立特別支援学校に改称する。(4. 1)</p> <p>適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」を教育会館内に移転する。(4. 1)</p> <p>第1回日立さくら杯社会人野球大会を開催する。(9. 22)</p> <p>新体育館建設準備室を新体育館建設課に改称する。(10. 1)</p>	<p>市消防本部に高度救助隊が発足する。(4. 1)</p> <p>日立市・バーミングハム市姉妹都市提が30周年となる。(4. 23)</p> <p>日立駅情報交流プラザを開設する(9. 1)</p>
25	<p>かねさわ市民プールを廃止する。(3. 31)</p> <p>中里小・中学校で小規模特認校制度を実施する。(4. 1)</p> <p>記念・多賀・十王図書館の無休化を本格実施する。(4. 1)</p> <p>多賀図書館「子ども読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受ける。(4. 23)</p>	<p>日立市新交通(BRT)を運行開始する。(3. 25)</p> <p>山側道路の全区間を供用開始する。(3. 25)</p> <p>インターネットモニター制度の運用を開始する。(5. 30)</p>

	日立市教育委員会	日立市
25	<p>南部図書館を開館する。(4. 24)</p> <p>ケーブルテレビ(JWAY)を活用したテレビ学習室の放送を開始する。(7. 6)</p> <p>市民運動公園テニスコートを全面人工芝に改修する。(9. 26)</p> <p>風土記撰進の詔が発せられてから1300年を記念して冊子「常陸国風土記にみる日立」を発行する。(10. 4)</p>	
26	<p>助川中学校新校舎が完成する。(1. 31)</p> <p>日立市学校教育振興プラン(2014~2018)を策定する。(3. 25)</p> <p>水木小学校新校舎が完成する。(3. 31)</p> <p>幼稚園業務の一部が保健福祉部の補助執行となる。(4. 1)</p> <p>日立市いじめ防止基本方針を策定する。(5. 1)</p> <p>新体育館の愛称が「日立市池の川さくらアリーナ」に決定する。(12. 24)</p>	<p>みやた保育園と宮田幼稚園を一体化したみやた認定こども園を開設する。(4. 1)</p> <p>日立おさかなセンターが道の駅に認定される。(9. 21)</p> <p>日立駅がブルネル賞を受賞する。(10. 15)</p> <p>十王町との合併10周年を迎える。(11. 1)</p>
27	<p>油縄子小学校新校舎が完成する。(3. 30)</p> <p>南高野調理場の調理業務等を民間委託する。(4. 1)</p> <p>日立市子ども読書活動推進計画(2015~2019)を策定する。(4. 1)</p> <p>日立市子どもセンターで教育相談を開始する(こども発達相談センター相談員を月1回派遣)。(12. 1)</p>	<p>みやた保育園と宮田幼稚園が廃止され、みやた認定こども園に統一される。(4. 1)</p> <p>日立市子どもセンターがオープンする。(12. 1)</p>
28	<p>日立市教育大綱を策定する。(3. 15)</p> <p>学務課に学校適正配置推進室を設置する。(4. 1)</p> <p>根道丘幼稚園を休園とする。(4. 1)</p> <p>日立市ふるさと寄附金により、図書館4館に「子育て支援コーナー」を設置する。(7. 1)</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う教育委員会新制度への移行が完了する。(12. 25)</p>	<p>日立LNG基地及び茨城~栃木幹線が本格稼働を開始する。(3. 24)</p> <p>久慈浜地区(ひたちBRTや南部図書館などの都市再生整備計画等)が、まちづくり情報交流大賞(国土交通大臣賞)を受賞する。(6. 10授賞式)</p> <p>ユネスコ政府間委員会において「山・鉾・屋台行事」の登録が正式決定する。(日立風流物が再登録される。)(12. 1)</p>
29	<p>「職業探検少年団」の継続的な活動が、「キャリア教育優良教育委員会」として文部科学大臣表彰を受ける。(1. 17)</p> <p>市民運動公園総合体育館(池の川さくらアリーナ)を開館する。(1. 21)</p> <p>折笠スポーツ広場自由広場を全面人工芝に改修する。(3. 21)</p> <p>諏訪小学校新校舎が完成する。(3. 31)</p> <p>根道丘、河原子幼稚園を廃園する。(3. 31)</p> <p>事務局から新体育館建設課を廃止する。(4. 1)</p> <p>中里小学校と中里中学校を併設型学校に位置付ける。(4. 1)</p> <p>学校運営協議会モデル校2校を設置する。(4. 1)</p> <p>田尻小学校に放課後子ども教室を開設する。(4. 1)</p> <p>事務局が市役所内に移転する。(7. 18)</p> <p>池の川さくらアリーナ開館記念「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を実施する。(7. 31)</p>	<p>市役所新庁舎を開設する。(7. 18)</p>

	日立市教育委員会	日立市
30	<p>日立市立学校適正配置基本方針を策定する。(3. 22)</p> <p>教育プラザ1階に「学習室」を設置する。(3. 25)</p> <p>学校運営協議会モデル校9校を設置する。(4. 1)</p> <p>塙山小学校、滑川小学校に放課後子ども教室を開設する。(4. 1)</p> <p>適応指導教室「ちゃれんじくらぶ日立教室」を教育プラザ内に開設する。(4. 1)</p> <p>日立市いじめ防止基本方針を改定する。(5. 1)</p> <p>夏休み最初の日曜日を「日立市一斉ラジオ体操の日」とし、地域コミュニティごとに体操会を実施する。(7. 22)</p> <p>南部図書館入場者100万人達成セレモニーを実施する。(10. 10)</p> <p>長者山遺跡が「長者山官衙遺跡及び常陸国海道跡」として国の史跡に指定される。(10. 15)</p>	<p>大みか駅東西自由通路と大みか駅舎が供用開始する。(12. 8)</p>
令和元	<p>日立市教育振興基本計画を策定する。(1. 24)</p> <p>久慈小学校新校舎が完成する。(2. 15)</p> <p>平成30年度ビブリオバトル決戦大会開催(3. 9)</p> <p>「ひたち大好き博士」マスコットキャラクターを決定する。(3. 15)</p> <p>宮田学校給食共同調理場及び十王学校給食共同調理場を統合し、北部学校給食共同調理場を供用開始する。(4. 1)</p> <p>南高野幼稚園を休園とする。(4. 1)</p> <p>会瀬小学校、坂本小学校に放課後子ども教室を開設する。(4. 1)</p> <p>市民運動公園野球場のスコアボードをバックスクリーン一体型の電光掲示板(LED)にリニューアルする。(4. 10)</p> <p>ブックスタートパック20,000パック配布達成(4. 13)</p> <p>市役所新庁舎大屋根広場を会場に加え、「日立市一斉ラジオ体操の日」を実施した。(7. 21)</p> <p>第62回桐生市臨海子ども会の歓迎式典を市役所新庁舎大屋根広場で実施する。(7. 26)</p>	<p>市役所新庁舎がグランドオープンする(大屋根広場、多目的ホール棟、交通広場)。(3. 30)</p> <p>ひたちBRTが本格運行を開始する。(4. 1)</p> <p>市役所の窓口等の支払いで電子マネーが使用可能となる。(7. 1)</p> <p>第74回国民体育大会が茨城県で開催され、日立市で体操(新体操・体操競技)、卓球、バスケットボール、軟式野球の4種目が行われる。(9. 7~10. 8)</p> <p>天皇皇后両陛下が日立市(池の川さくらアリーナ・国民宿舎「鶉の岬」・森林総合研究所林木育種センター・日立駅)を御訪問される。(9. 29)</p>
2	<p>日立市子ども読書活動推進計画(2020~2024)を策定する。(2. 26)</p> <p>移動図書館車を更新する。(3. 30)</p> <p>中里、南高野幼稚園を廃園する。(3. 31)</p> <p>会瀬、高鈴、水木幼稚園を休園とする。(4. 1)</p> <p>助川小学校、大久保小学校、水木小学校に放課後子ども教室を開設する。(4. 1)</p> <p>新入学生徒へのスクールカバンの贈呈をスタートする。(4. 6)</p> <p>「ひたち発ラジオ体操 それ! 1 2 ♪ 3 ♪ ♪ (第1弾)」を実施する。(6. 20~8. 20)</p> <p>生涯学習課に放課後児童対策室を設置する。(7. 1)</p> <p>豊浦小学校新校舎が完成する。(8. 31)</p> <p>久慈小学校屋内運動場が完成する。(8. 31)</p> <p>日高小学校新校舎が完成する。(12. 25)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が流行する。</p> <p>南部消防署を開設する。(4. 1)</p> <p>かねさわ保育園と塙山幼稚園を一体化したはなやま認定こども園を開園する。(4. 1)</p>

	日立市教育委員会	日立市
3	<p>「ひたち発ラジオ体操 それ！12♪3♪♪（第2弾）」を実施する。(2.5～3.10)</p> <p>日立市立学校再編計画（【第1次】2021～2030）を策定する。(2.24)</p> <p>教育プラザ1階の「学習室」を増設する。(3.18)</p> <p>児童生徒1人1台のタブレット型PCを整備する。(3.31)</p> <p>教育プラザ内に「放課後児童センター“はぐ”」を開設する。(4.1)</p> <p>諏訪小学校、大沼小学校、日高小学校、豊浦小学校、久慈小学校に放課後子ども教室を開設する。(4.1)</p> <p>機構改革により、学校再編課を設置する。(4.1)</p> <p>図書館の非接触型サービスとして、電子書籍貸出サービスを開始する。(7.20)</p> <p>「ひたち発ラジオ体操 それ！12♪3♪♪（第3弾）」を実施する。(7.21～8.31)</p> <p>第1回日立市長杯ラジオ体操コンクールを開催する。(12.18)</p> <p>中小路、滑川、金沢、豊浦幼稚園を廃園する。(3.31)</p> <p>中里小学校及び中里中学校を廃校する。(3.31)</p>	<p>日立シビックセンター科学館「サクリエ」がリニューアルオープンする。(4.17)</p> <p>東京2020オリンピック聖火リレーが日立市で開催される。(出発地：日立市役所、到着地：日立新都市広場) (7.4)</p> <p>みやた認定こども園新園舎を供用開始する。(8.30)</p>
4	<p>義務教育学校として中里小中学校を開校する。(4.1)</p> <p>「ひたち大好きパスポートデジタル版」の使用を開始する。(4.1)</p> <p>新・放課後子ども総合プラン運営業務等を民間委託する。(4.1)</p> <p>宮田小学校、仲町小学校、中小路小学校、河原子小学校、成沢小学校、金沢小学校に放課後子ども教室を開設する。(4.1)</p>	

2 協議会・審議会・委員会委員名簿等

日上市立小中学校等学区審議会委員（任期：令和4年7月1日～令和5年6月30日）（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
田崎喜広	市立小中学校長	助川中学校長
中島修	〃	久慈中学校長
中島裕信	市立小中学校PTA役員	滑川小学校PTA会長
稲田佑樹	〃	河原子中学校PTA会長
綿引栄亮	〃	滑川中学校PTA会長
皆川康博	〃	中小路小学校PTA会長
土岐美磨	〃	田尻小学校PTA会長
杉本和子	市議会議員	総務産業委員会委員
藤森結花	〃	教育福祉委員会委員
小林真美子	〃	環境建設委員会委員
福地秀太郎	学識経験者	日上市立小・中学校PTA連合会会長
草地学	〃	日上市立小・中学校PTA連合会顧問
深谷政幸	〃	日上市青少年育成推進会議会長
八田悦子	〃	日立地区交通安全母の会連合会補佐
遠藤隆利	〃	元学校長
上野義幸	〃	元学校長
大内康平	〃	元学校長
田山安雄	〃	元学校長
渡邊貴志	市職員	総務部長
七井則之	〃	生活環境部長

日上市いじめ調査委員会委員（任期：令和4年4月28日～令和4年10月31日）（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
末永純子	精神保健	日立港病院医師
近藤識之	法律	近藤法律事務所弁護士
小野瀬裕子	心理・福祉等	茨城県日立児童相談所長
富山明子	〃	日上市こども発達相談センター相談員
山田禮子	〃	日上市人権擁護委員会人権擁護委員
小泉優子	児童等指導	大久保中学校長
飛田隆	学識経験者	茨城キリスト教大学教授
櫻井昌克	その他	教育委員会指導課生徒指導担当教育相談員（警察OB）
檜山淳子	〃	保健福祉部子育て支援課長
大内弓子	〃	生活環境部女性若者支援課長

日立市学校運営協議会委員（任期：令和4年4月28日～令和5年3月31日）（順不同、敬称略）

区 分	人 数	備 考
小 学 校	207	21校
中 学 校	120	12校
義務教育学校	10	1校
特別支援学校	10	1校
小・中合同	31	2団体5校

日立市教育支援委員会委員（任期：令和4年6月1日～令和5年5月31日）（順不同、敬称略）

氏 名	選 出 区 分	備 考
岡 田 正 樹	医 師	日立梅ヶ丘病院長
堀 内 康 治	〃	堀内耳鼻咽喉科医院長
浅 井 淳	〃	日立おおみか病院副院長
伏 屋 陽 子	〃	サンアイ眼科院長
藤 田 剛	教 育 職 員	久慈小学校長
瀬 尾 栄	〃	日立特別支援学校長
澤 島 充 子	〃	会瀬小学校教諭
雅樂川 千 春	〃	河原子小学校教諭
菅 原 直 美	〃	水木小学校教諭
猿 田 和 枝	〃	田尻小学校教諭
棚 井 京 子	〃	塙山小学校教諭
宇須井 一 江	〃	日高小学校教諭
古 谷 彩	〃	豊浦小学校教諭
安 島 郁 子	〃	坂本小学校教諭
中 野 美千代	〃	櫛形小学校教諭
武 藤 享 子	〃	日立特別支援学校教諭
木 村 重 文	〃	日立特別支援学校教諭
三 浦 悦利子	〃	日立特別支援学校教諭
河 口 恵 子	〃	大沼幼稚園教頭
佐 藤 千 鶴	児童福祉施設の職員	おおせ保育園長
大 沢 靖 司	学 識 経 験 者	県教育研修センター主査
芳 賀 友 博	市 職 員	教育委員会学務課長
多 田 賢 一	〃	教育委員会指導課長
横 山 宏 栄	〃	教育委員会教育研究所長
山 本 克 代	〃	教育委員会教育研究所指導主事
中 村 大 介	〃	保健福祉部障害福祉課長
武 藤 さとみ	〃	保健福祉子どもセンター所長
高 橋 <に江	〃	保健福祉健康づくり推進課課長

日立市奨学生選考委員会委員（令和4年5月26日～令和5年5月31日）

（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
下山田 幹子	市議会議員	総務産業委員会委員
千葉 達夫	〃	教育福祉委員会委員
福地 秀太郎	教育関係者	日立市立小・中学校PTA連合会会長
青木 睦人	〃	県北地区高等学校長会（日立第一高等学校長）
高橋 秀治	〃	日立市学校長会副会長（多賀中学校長）
佐藤 薫	民生委員	日立市連合民生委員児童委員協議会副会長
小林 恵美子	〃	日立市連合民生委員児童委員協議会副会長
河合 恭子	学識経験者	元学校長
鈴木 正人	〃	元大学准教授
大窪 啓一	市職員	保健福祉部長
松本 正生	〃	教育部長

日立市社会教育委員（令和4年7月1日～令和6年6月30日）

（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
荒蒔 克一郎	学校教育関係者	諏訪小学校長
広瀬 美佳	〃	櫛形幼稚園長
小野瀬 静香	社会教育関係者	茨城県県北生涯学習センター事業グループリーダー
持田 幸雄	〃	日立市コミュニティ推進協議会会員
柴田 百恵	〃	ひたち生き生き百年塾推進本部副本部長
深谷 政幸	〃	日立市青少年育成推進会議会長
中川 雅子	〃	日立地区保護司会理事
鈴木 博史	〃	日立市人権擁護委員協議会委員
高野 たい子	〃	日立女性フォーラム副会長
坂本 貴史	〃	日立市スポーツ推進委員協議会副会長
松浦 みゆき	〃	日立国際交流協議会理事
草地 学	家庭教育関係者	日立市立小中学校PTA連合会顧問
影山 美樹	〃	一般社団法人ライフ・ケア・ひたちすくすく担当主任
森戸 裕子	〃	NPO法人 ひたち親子の広場代表
飛田 隆	学識経験者	茨城キリスト教大学教授
行田 豊	〃	茨城県薬物乱用防止指導員日立地区協議会監事

日立市図書館協議会委員（令和3年9月1日～令和5年8月31日）

（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
芳賀俊英	学校教育関係者	田尻小学校長
福地秀太郎	社会教育関係者	日立市立小・中学校PTA連合会会長
菊池幾子	〃	十王図書館ボランティア
石川善憲	〃	久慈交流センター運営委員会委員長
鶴岡育枝	〃	ひたち図書館と歩む会会員
船田智美	家庭教育関係者	日立市子育て支援サポーター
窪木雅啓	学識経験者	元子ども読書活動推進アドバイザー
千葉達夫	〃	教育福祉委員会委員
河合恭子	〃	元学校長

日立市郷土博物館協議会委員（令和4年5月1日～令和6年4月30日）

（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
荒蒔克一郎	学校教育関係者	諏訪小学校長（市教育研究会社会科研究部部長）
青木睦人	〃	茨城県日立第一高等学校・附属中学校長
鈴木洋一	〃	県北教育事務所主査
岩間信之	学識経験者	茨城キリスト教大学教授
堀口悟	〃	茨城キリスト教大学教授（大学図書館長）
笹岡明	〃	郷土ひたち文化研究会理事
今野幸樹	〃	教育福祉委員会委員長
池辺明文	社会教育関係者	日鉱記念館長 （JX金属(株)日立事業所総務部長）
名倉剛治郎	〃	日立美術協会会長
柴田百恵	〃	ひたち生き生き百年塾推進委員会副本部長
稲川修	〃	㈱日立製作所日立事業所総務部庶務課長
水庭久勝	〃	日立郷土芸能保存会長
皆川悠美子	〃	日立市らぼーる協会会長
加古由岐子	〃	日立市子ども子育て会議委員

日上市文化財保護審議会委員（令和4年5月1日～令和6年4月30日）

（順不同、敬称略）

氏名	専門分野	備考
阿久津 久	学識経験者 （考古・古代）	元(財)茨城県教育財団埋蔵文化財部長 元茨城県県北教育事務所埋蔵文化財指導員
國府田 克彦	学識経験者 （学校教育・自然(地質)）	元学校長
鈴木 盈	学識経験者 （学校教育・地理）	元学校長
田中 裕	学識経験者 （先史・古代、文化財）	茨城大学人文社会科学部教授
佐川 武男	学識経験者 （建造物）	川一工匠棟梁（伝統建築技能認定者）
大窪 範光	学識経験者 （古代・中世）	元茨城高等学校・茨城中学校長

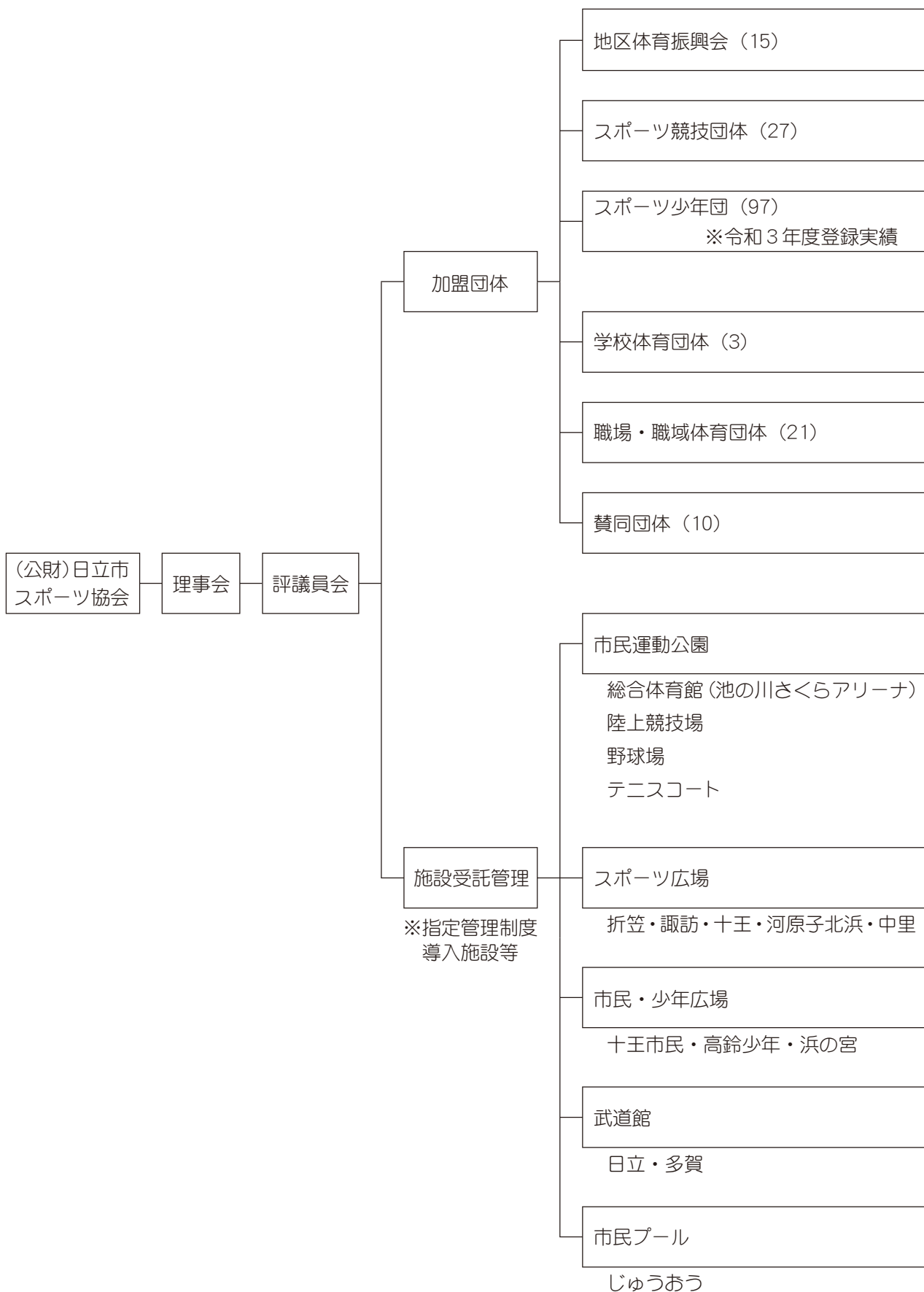
日上市学校給食共同調理場運営審議会委員（令和4年6月23日～令和5年7月31日）（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
下山田 幹子	市議会議員	総務産業委員会委員
篠田 砂江子	〃	環境建設委員会委員
堀江 紀和	〃	教育福祉委員会委員
藤森 結花	〃	教育福祉委員会委員
石川 悟	学校医	石川クリニック院長
西成田 真	〃	西成田医院長
阿内 一彦	学校薬剤師	一般社団法人日立薬剤師会会長
大曾根 洋子	〃	一般社団法人日立薬剤師会理事
花塚 寿美	保健所職員	日立保健所次長兼衛生課長
福地 秀太郎	保護者代表	日上市立小・中学校PTA連合会会長
蘭部 聖善子	保護者代表	日上市立小・中学校PTA連合会副会長
於曾能 弘樹	学校長	日高小学校長
鈴木 美知子	〃	大沼小学校長
小西 優子	学識経験者	茨城キリスト教大学生生活科学部食物健康科学科准教授
鈴木 久恵	市職員	保健福祉部健康づくり推進課係長

日立市視聴覚センター運営委員会委員（令和4年5月26日～令和5年8月31日）（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
岩波英一	学識経験者	日立市文化協会長
吉田修一	市議会議員	教育福祉委員会委員
前川敏彦	学校等の代表者	水木小学校長
寺門久美子	〃	大沼幼稚園長
飯山直樹	各種関係団体	公益財団法人日立市民科学文化財団事務局長
寺家通浩	〃	株式会社JWAY
美濃島和男	〃	ひたちビデオサロン会員
小又けい子	〃	なでしこ会会員
原田和一	市職員	生活環境部コミュニティ推進課長
信太誠	〃	教育委員会生涯学習課長
多田賢一	〃	教育委員会指導課長

3 令和4年度（公財）日立市スポーツ協会の組織図



※令和4年4月1日体育協会からスポーツ協会に名称変更

4 市立幼稚園、認定こども園、小・中義務教育学校及び特別支援学校配置図







2022 日立の教育

編集・発行 日立市教育委員会総務課
日立市助川町1丁目1番1号
電話 0294(22)3111(代)
050(5528)5121
ホームページ
<http://www.city.hitachi.lg.jp/kyouiku/>
メールアドレス
kyoiku-somu@city.hitachi.lg.jp
印刷所 大成印刷株式会社

【裏表紙のイラストについて】

「ひたち大好き博士」事業のマスコットキャラクター

左上：「Dr.ひたち」 イラスト原画：十王中学校 山村 颯太さん

右下：「Dr.さくら」 イラスト原画：助川中学校 田中 奈央さん



Dr.ひたち



Dr.さくら

ひたち大好き博士

地域の行事等への参加や、公共施設での見学・体験などをポイント制で評価し、「ひたち大好き博士」に認定します。

